

3. 電話機能

▶ この章では、電話で利用できる機能やサービスについて、設定のしかたや利用方法を説明します。

3.1	電話機能一覧	3-2
3.2	基本機能	3-4
3.3	便利な機能	3-16

3.1 電話機能一覧

サービス・機能の名称		必要な契約	内 容	参照ページ
発信			外線に電話をかけます。	3-4ページ
着信			外線からの電話を受けます。	3-5ページ
内線通話			Atermにつないだ電話機どうして通話します。	3-6ページ
内線転送			外線からの電話をAtermにつないだ他の電話機に転送します。	3-8ページ
受話音量調節			相手の声の音量を調節します。	3-9ページ
短縮ダイヤル			短縮ダイヤルで電話をかけます。	3-10ページ
発信者番号通知			電話をかけたときに自分の電話番号を相手に知らせます。	3-12ページ
着信履歴先発信			一度かけてきた相手に、着信履歴を使って電話をかけます。	3-15ページ
キャッチホン	INSキャッチホン	INSネット64	通話中に別の相手からの電話を受けることができます。	3-16ページ
	疑似キャッチホン			
三者通話	三者通話	INSネット64	三人で通話します。	3-19ページ
	疑似三者通話			
着信転送	着信転送	INSネット64	かかってきた電話をほかの電話番号に転送します。電話番号着信通知は、かかってきた相手の電話番号を電子メールで知らせる機能です。	3-22ページ
	疑似着信転送			
	電話番号着信通知	INSネット64 BIGLOBE		
通信中転送		INSネット64	通話中に、別の相手に転送します。	3-27ページ
INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト		INSネット64	電話がかかってきたとき、相手の電話番号をAtermやアナログ通信機器に表示します。	3-29ページ
キャッチホン・ディスプレイ		INSネット64	通話中に別の電話がかかってきたとき、相手の電話番号をAtermやアナログ通信機器に表示します。	3-33ページ
i・ナンバー		INSネット64	2つの電話番号を使い分けます。	3-36ページ
ダイヤルインサービス		INSネット64	複数の電話番号を使い分けます。	3-38ページ
モデム・ダイヤルイン		INSネット64	着信した電話番号をモデム信号としてアナログ通信機器に送信します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	3-41ページ
アナログ・ダイヤルイン		INSネット64	着信した電話番号をプッシュボタン信号としてアナログ通信機器に送出します。アナログ通信機器のダイヤルインに対応します。	3-44ページ
INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト		INSネット64	電話がかかってきたとき、NTTの交換機側で転送するサービスです。	3-47ページ

サービス・機能の名称		必要な契約	内 容	参照ページ
識別着信	INSなりわけ 識別着信	INSネット64	あらかじめ登録した相手のみを着信させ、その他の着信を受け付けないようにします。	3-50ページ
	疑似識別着信	INSネット64		
なりわけ	INSなりわけ 識別リングング	INSネット64	あらかじめ登録した相手からの着信があったとき、特別な呼出音を鳴らしてお知らせします。	3-54ページ
	疑似なりわけ	INSネット64		
選択キャッチホン	選択キャッチホン	INSネット64	通話中に別の電話がかかってきたとき、あらかじめ登録した相手に限って、電話を受けることができます。	3-57ページ
	疑似選択キャッチホン	INSネット64		
迷惑電話おことわり	迷惑電話おことわり	INSネット64	迷惑電話やいたずら電話を着信させないようにします。	3-59ページ
	迷惑電話防止	INSネット64		
優先着信ポート指定			着信する電話機に優先順位をつけます。	3-62ページ
マイプライベート着信		INSネット64	相手によって、着信させる電話機を変えます。	3-63ページ
着信ダイヤルイン複数選択		INSネット64	1つのアナログポートに複数の電話番号を着信させます。	3-66ページ
サブアドレス			電話番号にサブアドレスを付けて発信・着信させます。	3-68ページ
識別着信転送	識別着信転送	INSネット64	あらかじめ登録した相手からの着信のみを転送します。	3-71ページ
	疑似識別着信転送	INSネット64		
お出かけ設定	おやすみモード		就寝時や外出時など、電話に出られないときのための機能です。電話の着信音を鳴らさないおやすみモードとフラッシュモード、電話を転送する電話着信転送モードとボイスワープ転送モードがあります。	3-72ページ
	電話着信転送モード	INSネット64 BIGLOBE		
	ボイスワープ転送モード	INSネット64		
	フラッシュモード			
HLC			HLCが一致する相手とだけ通信することができます。	3-76ページ

1. 必要な契約欄の「INS ネット 64」は、INS ネット 64 の付加サービスの契約が必要であることを示しています。また、「BIGLOBE」は、インターネットプロバイダBIGLOBEで追加の申し込みが必要であることを示しています。
2. INS キャッチホン、三者通話、着信転送、通信中転送は、INS ネットの64 フレックスホンサービスです。
3. キャッチホンは、コールウェイティングと呼ばれていたものです。

3.2 基本機能

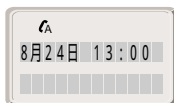
3.2.1 電話をかける

Atermに接続した電話機から電話をかけます。

詳しい操作は、お使いの電話機の取扱説明書をお読みください。

1. 電話機の手話器をあげる

「ツーン」という音が聞こえ、使用しているアナログポート名(ここではAポート)がディスプレイに表示されます。

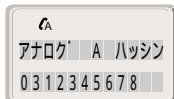


2. 相手の電話番号をダイヤルする

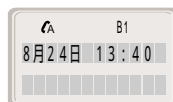
ダイヤル後、約5秒(工場出荷時の値)たってから発信します。

ダイヤル後、続けて「#」を押すと、すぐに発信します。

電話番号を間違えたときは、いったん受話器を置いて、手順1からやり直してください。

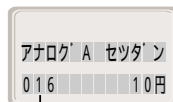


3. 通話する



4. 通話が終わったら、受話器を戻す

「アナログAセツダン」と表示され、今かけた通話の料金が表示されます。



切断理由(☎付-11ページ)

3

電話をかける

? こんなときは

- ・ LCR内蔵の電話機の場合、発信や着信、LCRデータの自動ダウンロードなどがうまくいかないことがあります。このようなときは、ダイヤル桁間タイマを9秒以上に設定してみてください。

らくらくユーティリティの場合

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

[ダイヤル桁間タイマ]: 5秒(初期値) / 9秒 / 11秒 / 13秒

電話機から設定する場合

「8. 電話機からの設定操作」(☎付8-3ページ)

- 最初は、 1つがダイヤル終了識別キーとして働くように設定されています。
 を含む電話番号にダイヤルしたいときは、 発信の設定を、「 発信をしない」または「 で発信する」に変更します。

らくらくユーティリティの場合

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.5)

[[#]で発信]:使用しない(# を電話番号として扱う)/使用する(# で発信動作を行う)/使用する(# # で発信動作を行う)

電話機から設定する場合

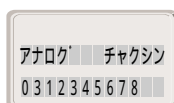
「8.電話機からの設定操作」(☎付-8-8ページ)

3.2.2 電話を受ける

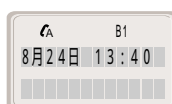
Atermに接続した電話機で電話を受けます。詳しい操作は、お使いの電話機の取扱説明書をお読みください。

1. 着信音が鳴る

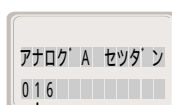
「アナログチャクシン」と表示されます。INSナンバー・ディスプレイを契約している、相手が発信者番号を通知している場合は、通話相手の電話番号が表示されます。



2. 受話器をあげて通話する



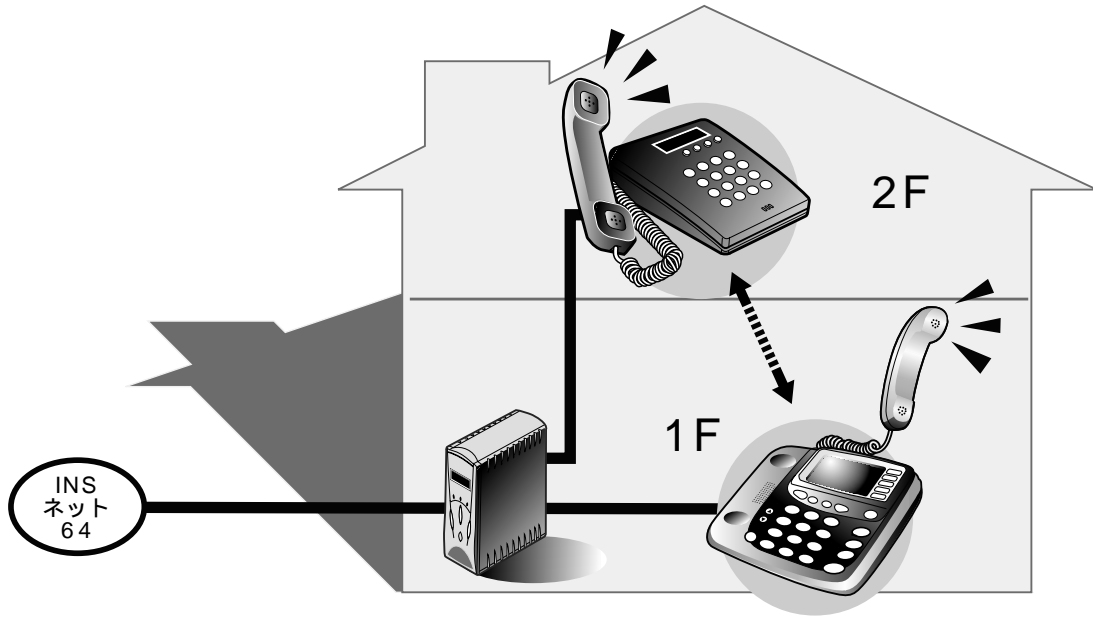
3. 通話が終わったら、受話器を戻す



切断理由(☎付-11ページ)

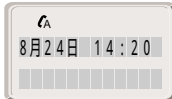
3.2.3 内線通話

Atermのアナログポートにつないだ電話機の間で、通話することができます。



1. 電話機の手話器をあげる

「ツーン」という音が聞こえ、ディスプレイに使用しているアナログポート名が表示されます。

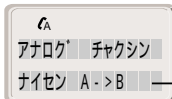


2. [ポート番号] を押す

相手の電話機の手話器番号を指定します。

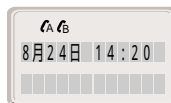
- : アナログAポート
- : アナログBポート
- : アナログCポート

ダイヤル後、約5秒(工場出荷時の値)たってから発信します。ダイヤル後、続けて を押すと、すぐに発信します。

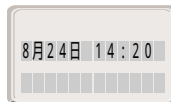


AポートからBポートにかけた場合

3. 通話する



4. 通話が終わったら、手話器を戻す



? こんなときは

内線通話中に外線から電話がかかってきたときは、「プップ」^①と割り込み音を鳴らしてお知らせします。フッキングすると、内線通話は終了し外線との通話に切り替わります。

● ご参考

- ・ 停電時は利用できません。
- ・ AtermをINSネット64に接続していなくても、内線通話は可能です。
- ・ フッキングとは...
電話機にフッキングの機能ボタンがある場合は、そのボタン(例:「フック」、「キャッチ」など)を押します。フッキングの機能ボタンがない場合は、フックスイッチを軽く押して離します(長い時間押すと、電話が切れます)。フッキングは、キャッチホンや三者通話の時に使います。
- ・ フッキング検出タイマ
フッキングがうまく働かないときは、フッキング検出タイマを調整してください。

らくらくユーティリティの場合

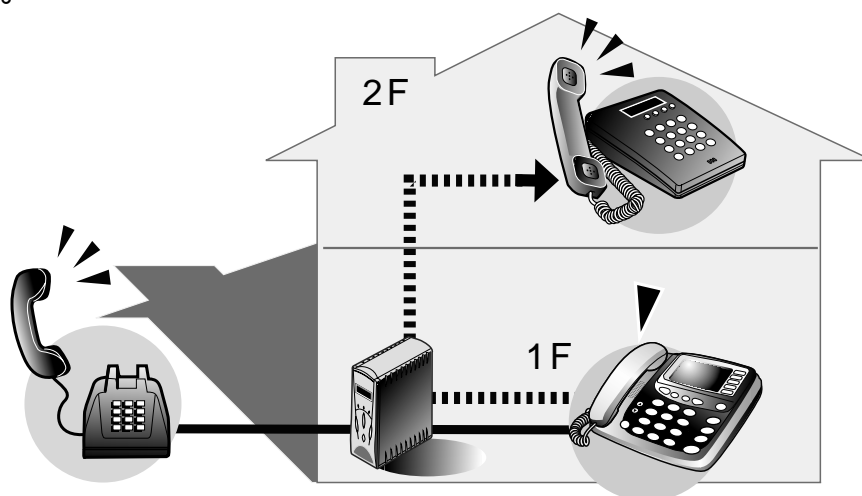
「らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート」(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

電話機から設定する場合

「8 . 電話機からの設定操作」(☞ 8-3ページ)

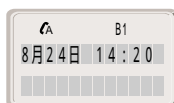
3.2.4 内線転送

外線からかかってきた電話を、別のアナログポートにつないだ電話機やファクスに転送します。



1. 外線と通話中にフッキングする

「プププ」という音が聞こえます。外線
で通話中の相手には、保留音が聞こえ
ます。



2. # * [ポート番号] を押す

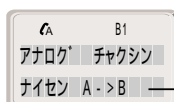
相手の電話機のポート番号を指定し
ます。

1 : アナログAポート

2 : アナログBポート

3 : アナログCポート

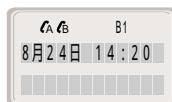
ダイヤル後、約5秒(工場出荷時の値)たっ
てから発信します。ダイヤル後、続けて
を押すと、すぐに発信します。



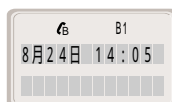
AポートからBポ
ートに転送する場合

3. 転送先の電話機が鳴る

そのまま受話器を戻すか、転送先が電話
に出てから、転送する旨を伝えて受話器
を戻します。



4. 転送先と外線相手が通話する



●ご参考・・・・・・・・

- ・ 同一回線にバス接続されている別のターミナルアダプタに接続された電話機へは、内線転送できません。
- ・ フッキングしたあと、すぐに次の操作をしないと、外線との通話に戻ります。「プププ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。
- ・ 転送中(内線相手と呼出中)にフッキングすると、外線との通話に戻ります。
- ・ 停電時は利用できません。
- ・ 三者通話中には内線転送はできません。

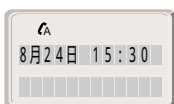
3.2.5 受話音量調節

通話中、電話機の **[*]** **[#]** を押して、相手の声の音量を調整できます。

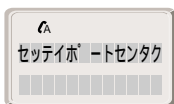
■ 受話音量を調整できるようにする ■

工場出荷時の状態では、受話音量が変更できないようになっています。電話機から以下の操作を行うと、通話中の受話音量調整が可能になります。

1. 受話器をあげる

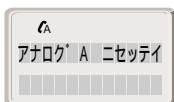


2. **[*]** **[*]** **[1]** **[*]** を順に押す

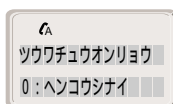


3. 設定するポートの番号を押す

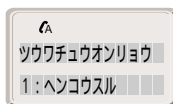
- [1]** : アナログAポート
- [2]** : アナログBポート
- [3]** : アナログCポート



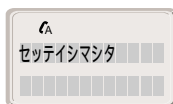
4. **[*]** **[1]** **[4]** **[*]** を順に押す



5. **[1]** を押す



6. **[#]** **[#]** を順に押す



7. 受話器を戻す

●ご参考・・・・・・・・

- ・ ふたたび受話音量を変更できないように戻すには、手順5で **[0]** を押します。

■ 通話中に音量を調整する ■

通話中、電話機の操作で音量を調整します。

1. 通話中に **[*]** **[#]** を押す

押すたびに、中 大 小の3段階で音量が切り替わります。

🔍ご注意・・・・・・・・

相手の電話機の機種によっては、相手が **[*]** **[#]** を押すと、自分側の電話機の音量が切り替わることがあります。このような場合は、受話音量を変更できない設定に戻してください。

●ご参考・・・・・・・・

らくらくユーティリティまたは電話機からの操作で、受話音量の大・中・小を設定(初期値:中)することもできます。通話中の受話音量調整がうまくいかない場合はこちらをお使いください。

らくらくユーティリティの場合

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2 / 1.3)

電話機から設定する場合

「8.電話機からの設定操作」(☞8-4ページ)

3 3.2.6 短縮ダイヤル

短縮ダイヤル

相手の電話番号を電話帳に登録しておく、短縮ダイヤルで電話をかけることができます。短縮ダイヤルには10件まで登録できます。

■ 短縮ダイヤルに登録する ■

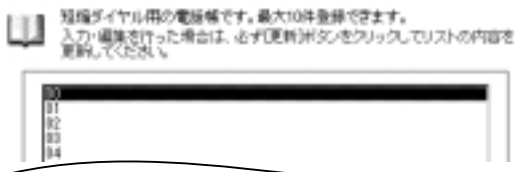
相手の電話番号を短縮ダイヤルに登録します。

1. 一覧から空いている番号を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.1)

[電話帳]ボタン [短縮ダイヤル]タブ
一覧から空いている番号をクリックします。

一覧の番号が短縮番号になります。



2. 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.1)

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号を市外局番から入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する

3. [更新]ボタンをクリックする

4. 続けてほかの番号を登録するときは、手順1～3を繰り返す

?こんなときは・・・・・・・・

- 登録済みの電話番号を変更したい場合、手順1で修正する番号を選択し、新しい電話番号に変更してください。
- 登録済みの電話番号を削除したい場合、手順1で削除する番号を選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。

●ご参考・・・・・・・・

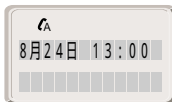
短縮ダイヤルは、電話機から登録することもできます。
「8.電話機からの設定操作」(☞8-8ページ)

■ 短縮ダイヤルで電話をかける ■

登録した短縮ダイヤルを使って電話をかけます。

1. 電話機を受話器をあげる

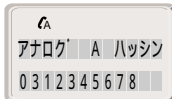
「ツーン」という音が聞こえ、使用しているアナログポート名がディスプレイに表示されます。



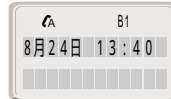
2. [*] [短縮ダイヤル番号 (0 ~ 9)] を押す

電話番号を登録した一覧の番号が短縮ダイヤル番号(0 ~ 9)です。一覧の番号が「 0 1 」のときは、 [*] [1] と押します。

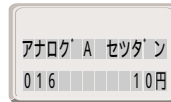
ダイヤル後、約5秒(工場出荷時の値)たってから発信します。ダイヤル後、続けて [#] を押すと、すぐに発信します。



3. 通話する



4. 通話が終わったら、受話器を戻す



3.2.7 発信者番号通知

自分の電話番号を相手に通知するサービスです。相手がINSナンバー・ディスプレイを契約し、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を使っている場合、相手の電話機に自分の電話番号が表示され、相手は電話に出る前に誰から電話がきたかを知ることができます。

INSネット64の基本サービスとして発信者番号を通知する / しないを契約できますが、実際に通知するかどうかは、Atermの設定や、ダイヤル時に付加する番号(184 / 186)に影響されます。

● ご参考

「3.3.5 INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト(☎3-29ページ)

■ 184 / 186 を付ける ■

発信者番号の通知する / しないを一時的に変更したい場合は、ダイヤル時に相手の電話番号の前に、184 / 186を付けてください。INSネット64の契約やAtermの設定内容に関係なく、通知する / 通知しないを指定できます。

184(通知しない):電話番号は通知されません。

186(通知する):電話番号が通知されます。

■ 発信者番号を通知する / 通知しないの組み合わせ ■

INSネット64の契約やAtermの設定、184 / 186の付加の組み合わせによって、実際に通知する / しないは次のようになります。

INSネット64の契約	発信時の付加番号	Atermの設定		
		通知しない	通知する	INSネット64の申込内容に従う
通常通知 (通話ごと非通知)	番号付けない	×		
	184	×	×	×
	186			
通常非通知 (回線ごと非通知)	番号付けない	×		×
	184	×	×	×
	186			

:通知する ×:通知しない

◆ ご注意

INSネット64で常時通知拒否をご契約の場合、Atermの設定や184 / 186の付加に関係なく、常に通知されません(常時通知拒否は以前にあった契約パターンです。現在、新しく常時通知拒否を契約することはできません)。

■ 発信者番号通知を設定する ■

発信者番号を通知するかどうかを、ポートごとに設定します。

1. 番号通知を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2 / 1.3 / 2.1 / 2.2 / 2.3)

アナログポート:[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ

データポート:[データポート]ボタン [データポート]/[USB(B)ポート]/[USB(F)ポート]/タブ [電話番号]選択

契約内容に関わりなく通知するときは「行う」を、契約通りとするときは「INSネット64の申込通り」を選択します。

発信者番号通知

通知番号 0311111111

行わない INSネット64の申込通り

行う

(初期値)

● 参考

発信者番号通知は、電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☞8-4ページ)

■ 通知する電話番号を設定する ■

相手に通知する電話番号を、ポートごとに設定します。何も設定しなければ、契約者回線番号が通知されます。契約者回線番号、ダイヤルイン番号、i・ナンバー情報として登録した番号の中から、通知する番号をポートごとに選択できます。

1. ポートごとに電話番号を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1 / 3.1i)

[番号テーブル] ボタン

通知する電話番号を選択します。ポートごとに1つの電話番号を選択できます。

・i・ナンバーを使用しないとき



[契ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が契約者回線番号となります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が「なし」になります。

・i・ナンバーを使用するとき



[1 ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が、i・ナンバー情報1となります。[2 ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートの通知番号が、i・ナンバー情報2となります。

● ご参考

発信者通知番号は、電話機から設定することもできます。

「8. 電話機からの設定操作」(☞ 8-4ページ)をお読みください。

3.2.8 着信履歴先発信

Atermには、かかってきた相手の電話番号やかかってきた時間などの着信履歴が最新の50件分まで記録されています。Atermのディスプレイに着信履歴を表示して確認したり、表示された番号に電話をかけることができます。

●ご参考・・・・・・・・

- ・ 着信件数が50件を超えると、古いものから順に消去されます。
- ・ 着信履歴 for USB ユーティリティ(☞6-4ページ)を使うと、パソコン上で着信履歴の表示や発信ができます。
- ・ Atermの前面ボタンを使っても着信履歴の表示や発信ができます(「6.1 着信履歴表示」☞6-2ページ)。

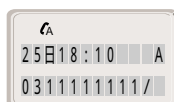
1. 受話器をあげる

どのアナログポートに接続してある電話機でもかまいません。

2. [*] [*] [5] [1] を順に押す

最新の着信履歴が表示されます。

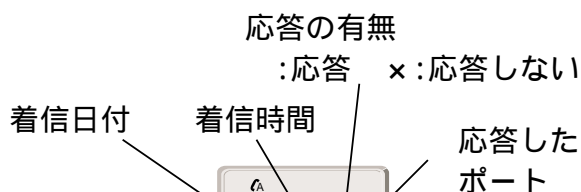
3. 1つ前の履歴を表示するときは、[8] を押す



以降、[8] を押すたびに古い履歴が表示されます。今より新しい履歴を表示するときは[2] を押します。

4. 表示されている番号に電話をかけるときは[#] を押す

5. 終了するときは受話器を戻す



発信者電話番号 非通知のときはその理由「ヒツウチ」、「コウシュウデンワ」、「ヒョウジケンガイ」

次頁の有無 続きがあるときは、[6] で次のページ、[4] で前のページを表示する

サブアドレスが続くときの区切り

ITX80、80/Dの場合、の応答時の「」は表示されません。

? こんなときは・・・・

着信履歴を消去したいときは、着信履歴が表示されている画面で[*] を押します。「ショウキョシマス」が表示されます。もう一度[*] を押すと「ショウキョシマシタ」が表示され、すべての着信履歴が消去されます。

◆ご注意・・・・・・・・

Atermの電源を切ると、すべての着信履歴が消去されます。

3.3 便利な機能

3.3.1 INSキャッチホン(INSネット64)/ 疑似キャッチホン(Aterm機能)

通話中に別の相手から電話がかかってきた場合、割込音を鳴らせてお知らせします。フッキング操作によって、現在の電話の相手を保留し、新しくかかってきた相手と話すことができます。

INSネット64のフレックスホンのINSキャッチホンを使う方法と、Atermの疑似キャッチホンを使う方法があります。

■ フレックスホンのINSキャッチホン(INSネット64)/ 疑似キャッチホン(Aterm機能)の違い ■

	INSネット64 フレックスホン INSキャッチホン	Aterm 疑似キャッチホン
追加契約	フレックスホンのINSキャッチホン	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信が可能です。	B1・B2チャンネルを両方使うため、他のポートを使用できません(内線通話のみ可能)。
利用条件	-	-
その他	-	-

● ご参考

- INSナンバー・ディスプレイ契約時はキャッチホン・ディスプレイ機能を使うことができます(☞3-33)。
- キャッチホンで割り込みさせる相手をあらかじめ制限しておくことができます(「3.3.14 選択キャッチホン/疑似選択キャッチホン」☞3-57)。

■ キャッチホンを設定する ■

フレックスホンのINSキャッチホンと疑似キャッチホンの、どちらを利用するかを設定します。

1. 「INSキャッチホン(フレックスホンのINSキャッチホン)か「疑似キャッチホン」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』Windows版(1.1 / 1.2 / 1.3)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ

「INSキャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択します。

キャッチホン(W)

使用しない

INSキャッチホン

疑似キャッチホン

(初期値)

⚠️ ご注意

ファクスやモデムを接続したポートには、キャッチホンを設定しないでください。通信中にキャッチホンが入ると、通信エラーとなります。

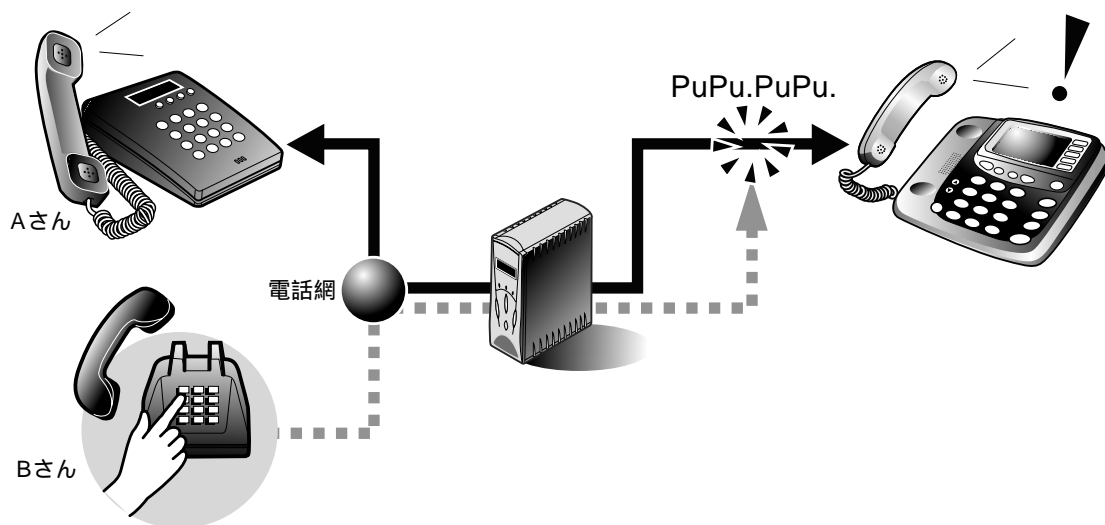
📌 ご参考

キャッチホンは、電話機から設定することもできます。

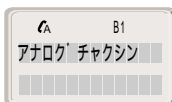
「8.電話機からの設定操作」(☞8-3ページ)

■ キャッチホンを受ける ■

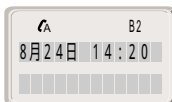
通話中に別の電話がかかってきたときの、操作方法を説明します。
以下の説明でディスプレイ表示は、INSキャッチホンの場合です。



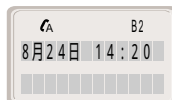
1. Aさんとの通話中に「プブ、プブ...」という音が聞こえる
Bさんから電話がかかっています。Bさんには、呼出音が聞こえています。



2. フッキングする
Bさんの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音が流れます。もし、この間にAさんが電話を切ると、Aさんとの通話は終了します。



3. もう一度フッキングする
Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音が流れます。以降、フッキングするたびに、相手が交互に切り替わります。



? こんなときは

2台の電話機でそれぞれ通話中に、さらに別の相手から電話がかかってきたときは、INSキャッチホンを設定しているアナログポートの中で若い番号のポートにのみ「プブ、プブ...」という音が聞こえます。

3.3.2 三者通話(INSネット64)/ 疑似三者通話(Aterm機能)

通話中にもう一人を呼び出し、三者で通話することができます。
INSネット64のフレックスホンの三者通話と、Atermの持つ疑似三者通話機能があります。

■ INSネット64三者通話と疑似三者通話の違い ■

	INSネット64のフレックスホン 三者通話	Aterm 疑似三者通話
追加契約	フレックスホンの三者通話	不要
追加料金	付加サービス使用料	不要
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、三者通話中でも空いているポートで通話や通信が可能です。	<ul style="list-style-type: none"> ・B1・B2チャンネルを両方使うため、三者通話中、他のポートは使用できません(内線通話のみ可能)。 ・通信中転送は利用できません。 ・ミキシングモードから切替モードには移行できません。
利用条件	-	-
その他	通信中転送も同時に契約してください。	-

● ご参考

三者通話の切断時には、最後に話したときの通話料金が表示されます。

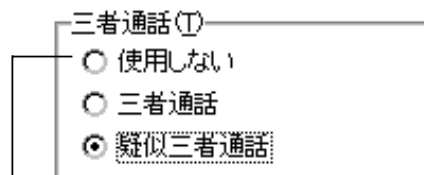
■ 三者通話を設定する ■

フレックスホンの三者通話と疑似三者通話のどちらを利用するかを設定します。

1. 「三者通話」または「疑似三者通話」のどちらかを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.5)

[アナログポート]ボタン [共通設定(その他)]タブ



(初期値)

● ご参考

三者通話は、電話機から設定することもできます。

「8. 電話機からの設定操作」(☎8-7ページ)

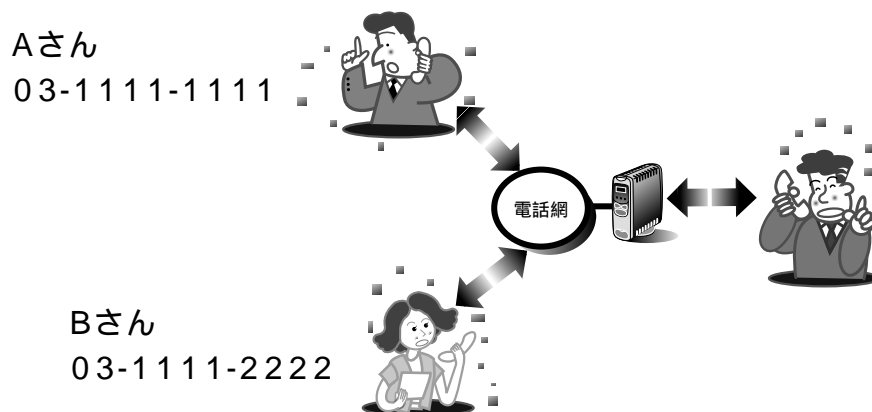
■ 三者通話する ■

三者通話および疑似三者通話には、三者同時に会話するミキシングモードと二者を切り替えて会話する切替モードがあります。

以下の説明でディスプレイ表示は、フレックスホンの三者通話の場合です。

ミキシングモード(三者同時に会話する)

三人で同時に会話できます。



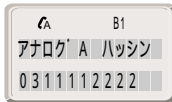
1. Aさんとの通話中にBさん呼び出す

1) フッキングする

Aさんには、保留音が聞こえます。

2) 「プププ…」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする

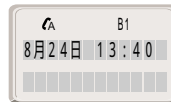
Bさんが電話に出れば、話ができます。



2. Aさん、Bさん、自分の三人で会話する

1) 2回続けてフッキングする

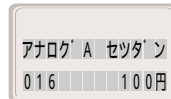
Aさん、Bさん、自分の三人で同時に会話できます。



3. 電話を切る

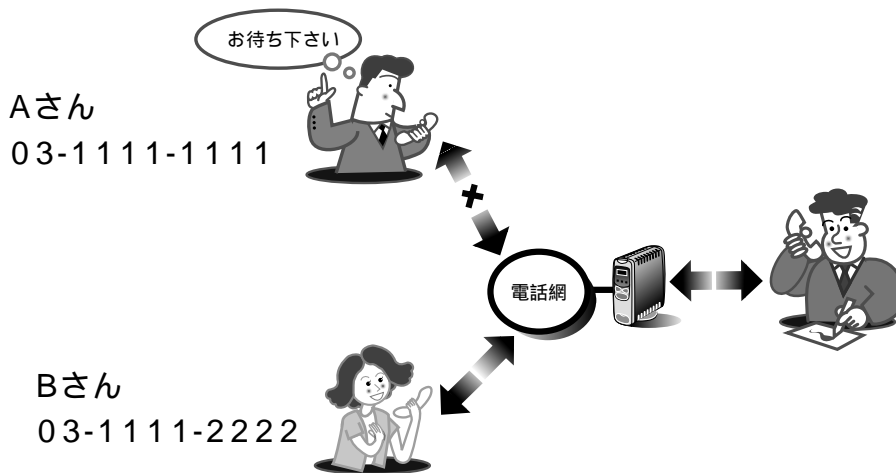
1) 1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押す

AさんとBさん両方との電話が切れます。



切替モード（二者を切り替えて会話する）

通話中の相手を切り替えて交互に会話します。同時に会話できるのは二人になります。



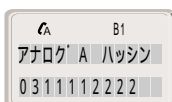
1. Aさんとの通話中にBさん呼び出す

1) フッキングする

Aさんには、保留音が聞こえます。

2) 「プププ…」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする

Bさんが電話に出れば、話ができます。

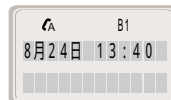


2. Aさんとの通話に戻る

1) Bさんとの通話中にフッキングする

「ププッ、ププッ」という音が聞こえ、その音が停止した後にAさんとの通話に戻ります。

この操作を繰り返し、何度でも通話を切り替えることができます。



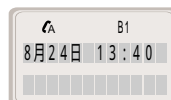
3. 電話を切る

1) 1秒以上受話器を戻すか、フックスイッチを長く押す

現在通話中の相手との電話が切れます。

2) 着信音が鳴ったら、受話器を取る

保留中の相手と話ができます。

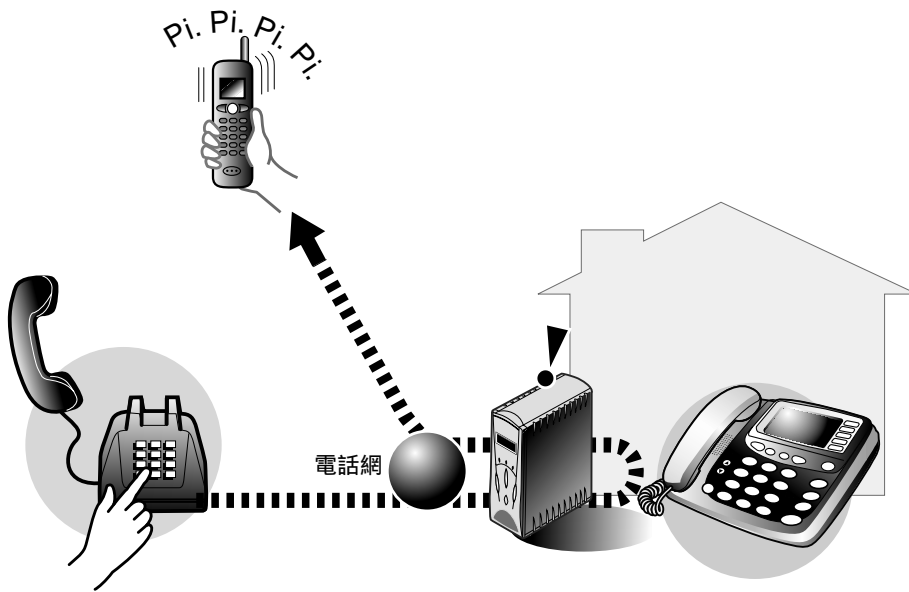


? こんなときは

切替モードとミキシングモードを切り替える場合、2回続けてフッキングします。ただし、疑似三者通話の場合は、ミキシングモードから切替モードに切り替えることができません。

3.3.3 着信転送(INSネット64)/ 疑似着信転送(Aterm機能)

かかってきた電話をほかの電話番号に自動的に転送します。INSネット64のフレックスホンの着信転送を使う方法と、Atermの疑似着信転送を使う方法があります。さらに、遊遊メールの電話番号通知機能を使い、着信した電話番号を電子メールで通知する方法もあります。



Aterm に着信した電話が転送され、別の電話を呼びます

3

着信転送(INSネット64)/疑似着信転送(Aterm機能)

■ フレックスホン 着信転送 (INSネット64) /
 疑似着信転送 (Aterm機能) /
 電話番号着信通知 (遊遊メール) の違い ■

	INSネット64 フレックスホン 着信転送	Aterm 疑似着信転送	電話番号着信通知 (遊遊メール)
追加契約	フレックスホンの着信転送	不要	NECのインターネットプロバイダ「BIGLOBE」への加入と「遊遊メール」の契約が必要 INSネット64のユーザ間情報通知サービスの契約が必要
追加料金	付加サービス使用料	不要	BIGLOBE接続料金など
サービスの違い	<ul style="list-style-type: none"> ・Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信が可能です。 ・着信時に転送トーキ^{*1}、転送元トーキ^{*2}の流し方を指定できます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B1・B2チャンネルを両方使うため、着信転送時は、他のポートを使用できません(内線通話のみ可能)。 ・転送トーキや転送元トーキが流れません。 	かけてきた相手の電話番号を遊遊メール形式にして「BIGLOBE」のメールサーバへ自動的に送信します。電子メールで、かけてきた相手の電話番号を知ることができます。
利用条件	-	-	発信者番号通知を行う必要があります。
その他	-	INSネット64の申込内容が通常通知(通話ごと非通知)ならば、転送先には契約者回線番号を通知します。	遊遊メールについて詳しくは、「5. Atermのメール機能」(5-1ページ)をお読みください。

*1 転送トーキ:「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

*2 転送元トーキ:「電話が転送されますので、そのままお待ちください」という音声メッセージ

●ご参考・・・・・・・・

- ネットワーク転送型の着信転送サービスとして、INSボイスワープ(☎3-47ページ)があります。
- Atermまでの通話料金は発信者に、Atermから転送先の通話料金はAterm側にかかります。疑似着信転送を使う場合、かかった料金はアナログAポートに蓄積されます。
- 着信転送はアナログポートに電話機を接続しなくても利用できます。
- Atermに着信があっても着信音は鳴りません。

3

■ 着信転送や疑似着信転送を設定する ■

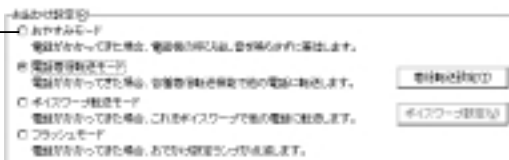
着信転送や疑似着信転送を利用するための設定です。電話着信転送モードを選び、転送の種類や転送条件などを登録します。転送元や転送先電話番号も登録してください。

1. 「電話着信転送モード」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4)

[アナログポート]ボタン [共通設定(着信)]タブ

- 1) 「電話着信転送モード」を選択する
- 2) [着信転送設定]ボタンをクリックする

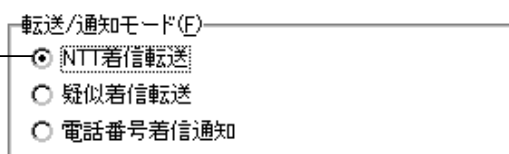


(初期値)

2. 「着信転送」または「疑似着信転送」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.1 / 1.4.1i)

「着信転送」または「疑似着信転送」を選択します。

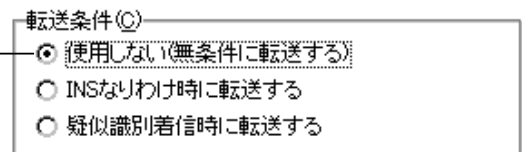


(初期値)

3. 無条件転送を選択する

『らくらくユーティリティ各画面兼設定記入シート』(1.4.1 / 1.4.1i)

「使用しない(無条件に転送する)」を選択します。



(初期値)

4. 転送元と転送先の電話番号とトークの有無を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.1 / 1.4.1i)

- 1) 転送元の電話番号を選択する
- 2) 転送先の電話番号を入力する
- 3) 着信転送の場合は、トークの有無を選択する

・i・ナンバーを使用しないとき

・i・ナンバーを使用するとき

●ご参考・・・・・・・・

着信転送は、電話機から設定することもできます。
「8.電話機からの設定操作 (☎8-7,8-9ページ)

■ 電話番号着信通知を設定する ■

遊メールの電話着番号着信通知を利用するときは、電話着信転送モードと電話番号着信通知を設定します。着信転送先メールアドレスとBIGLOBE-IDを登録してください。

1. 「電話着信転送モード」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4)

[アナログポート]ボタン [共通設定(着信)]タブ

- 1) 「電話着信転送モード」を選択する
- 2) [着信転送設定]ボタンをクリックする

(初期値)

2. 「電話番号着信通知」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.1 / 1.4.1i)

「電話番号着信通知」を選択します。

(初期値)

3. BIGLOBE-ID、転送元電話番号、転送先メールアドレスを設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.1 / 1.4.1i)

- 1) BIGLOBEのIDを入力する
 - 2) 転送元の電話番号を選択する
 - 3) 転送先のメールアドレスを入力する
- 転送元電話番号、転送先メールアドレスは、3パターン設定できます。

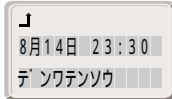
・i・ナンバーを使用しないとき

・i・ナンバーを使用するとき

■ 転送を開始 / 停止する ■

らくらくユーティリティや前面ボタンで「電話着信転送モード」を設定したあと、でかけるボタンを使用します。

1. でかけるボタンを上から押す



でかけるボタンのランプが赤く点灯し、以降の着信は転送されます。

2. 転送を停止するときは、でかけるボタンをもう一度押す

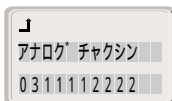
でかけるボタンのランプが消灯します。

● ご参考・・・・・・・・

- ・ でかけるボタンは、工場出荷状態ではロックされています。Selectボタンを押しながらでかけるボタンを押すと解除されます。
- ・ でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、数秒待ってから押ししてください。

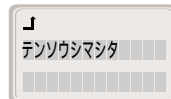
■ 転送設定中のディスプレイ表示 ■

1. 転送設定中に着信があると



2. 転送が完了する

転送できたときは「テンソウシマシタ」と表示されます。



3.3.4 通信中転送（INS ネット 64）

通話中にもう一人を呼び出して、現在の通話をそちらに転送します。

■ 利用条件 ■

	INSネット64 フレックスホン 通信中転送
追加契約	フレックスホンの通信中転送
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	-
その他	Bチャンネル1本のみを使用するので、もう1本のチャンネルを別の電話で使用できます。

■ 通信中転送を設定する ■

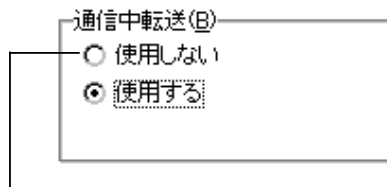
通信中転送を使用するように設定します。

1. 通信中転送を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（1.5）

[アナログポート]ボタン [共通設定(その他)]タブ

「通信中転送 使用する」を選択します。



(初期値)

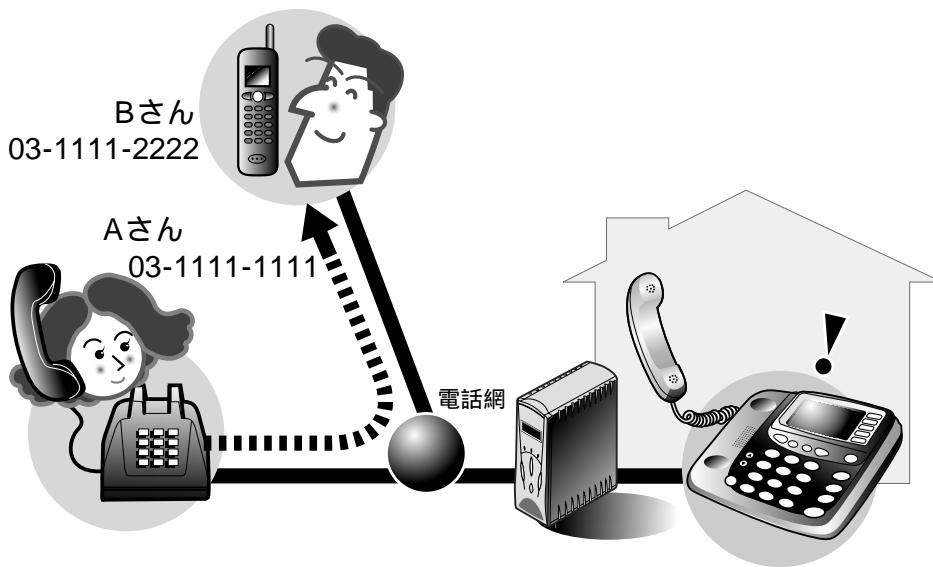
● ご参考

通信中転送は、電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☞8-7ページ)

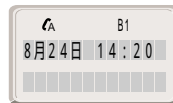
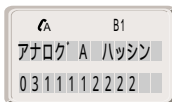
■ 通話中に転送する ■

転送操作は次のように行います。



1. Aさんとの通話中にBさん呼び出す
2. Bさんと会話する(省略可)

- 1) フッキングする
Aさんには保留音が聞こえます。
- 2) 「プププ」という音が聞こえたら、Bさんの電話番号をダイヤルする



3. 転送する
 - 1) フッキングする
 - 2) 「プププ」という音が聞こえたら、受話器を戻す
AさんとBさんが通話できます。

📌 ご注意

フッキングしたあと、すぐに次の操作をしないと、通話に戻ります。「プププ」音が止んだときは、もう一度フッキングしてください。

📌 ご参考

転送先の相手が応答する前に転送(応答前通信中転送)することもできます。転送先の電話番号をダイヤルしたあと、相手が電話に出る前にフッキングしてから受話器を戻してください。ただし、転送先が電話回線(アナログ網)でナンバー・ディスプレイを契約している場合、応答前通信中転送は利用できません。

3.3.5 INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト(INSネット64)

INSナンバー・ディスプレイは、電話がかかってきたとき、相手の電話番号をAtermやナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器のディスプレイに表示してお知らせするサービスです。電話に出る前に、相手が誰かを知ることができます。番号が通知されないときはその理由を表示します。

INSナンバー・リクエストはINSナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、「こちらは の ですよ。おそれいりますが、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください」という音声メッセージを流します。

■ 利用条件 ■

	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・リクエスト
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・リクエスト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
利用条件	アナログポートに接続した機器に相手の電話番号を表示させるには、ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	INSナンバー・リクエストは、INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。
その他	アナログCポートでは、INSナンバー・ディスプレイが働きません。AポートまたはBポートを使用してください。	-

● 参考

- ・ INSナンバー・リクエストで相手に応答している場合、こちらの電話機の着信音は鳴りません。電話をかけた人には電話料金がかかります。
- ・ INSネット64加入者・デジタル携帯電話・PHSから電話がかかってきた場合は、INSナンバー・ディスプレイの契約をしなくても、Atermのディスプレイやナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。INSナンバー・ディスプレイを契約することによって、電話回線(アナログ網)からの電話番号も表示されるようになります。

■ ナンバー・ディスプレイを設定する ■

ナンバー・ディスプレイを使用するように設定します。

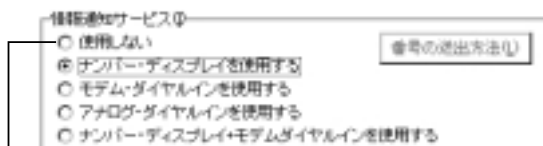
1. ナンバー・ディスプレイを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ

Windowsの場合は、「ナンバー・ディスプレイを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルインを使用する (モデム・ダイヤルイン使用の場合)」を選択します。

Macintoshの場合は、「ナンバー・ディスプレイ」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン (モデム・ダイヤルイン使用の場合)」を選択します。



(初期値)

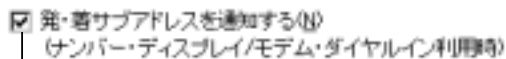
2. 必要なら発・着サブアドレス通知を選択する

発 / 着サブアドレスも通知するときは、以下の設定を行います。

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ [高度な設定]ボタン

「発・着サブアドレスを通知する」をチェックします。



(初期値 チェックなし)

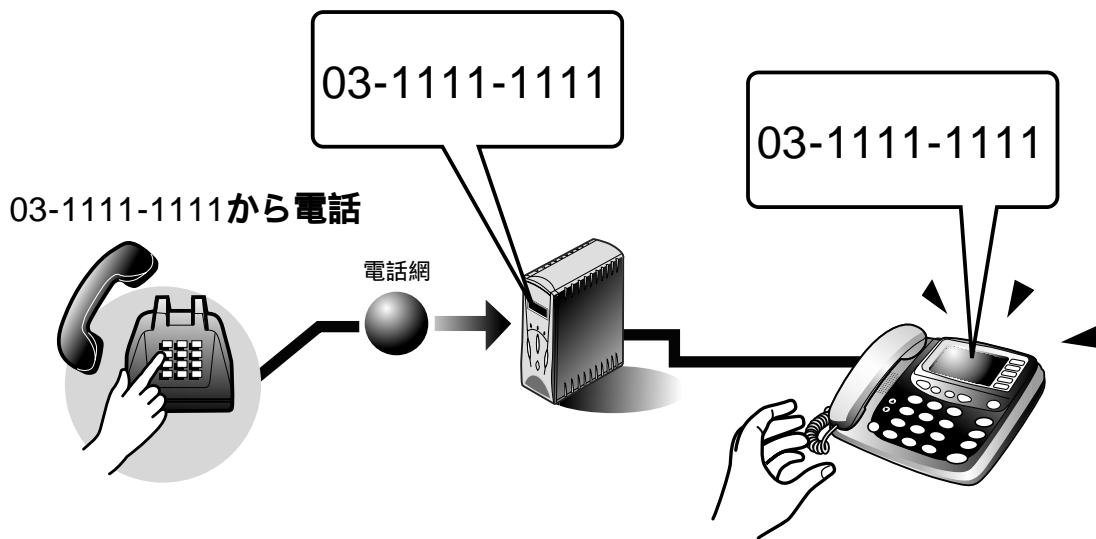
● ご参考

ナンバー・ディスプレイは、電話機から設定することもできます。

「8. 電話機からの設定操作」(☎ 8-5ページ)

■ INSナンバー・ディスプレイの動作 ■

Atermは相手から通知された電話番号(発信者番号)をモデム信号に変換してアナログ通信機器に通知します。



相手が発信者番号通知で電話をかけてくると、NTTの交換機から相手の電話番号が通知されます。

Atermはディスプレイに相手の電話番号を表示します。

Atermは相手の電話番号をモデム信号に変換して、「ナンバーディスプレイを使用する」に設定したアナログ通信機器に送出します(モデム信号送出中は電話機は鳴動しません)。

モデム信号を受信したアナログ通信機器に相手の電話番号が表示されます。

相手から電話番号が通知されなかった場合

相手から電話番号が通知されなかったときは、次のように表示されます。なお、オプションのINSナンバー・リクエストを契約している場合は、着信せずに相手に音声メッセージが流れます。

- ・通常非通知(回線ごと非通知)または一般電話・公衆電話から「184(イヤヨ)をつけてダイヤルした場合「ヒツウチ」が表示されます。

アナログ チャクシン
P: ヒツウチ

- ・公衆電話からかけた場合「コウシュウデンワ」が表示されます。

アナログ チャクシン
C: コウシュウデンワ

- ・サービス地域以外からかけた場合「ヒョウジケンガイ」が表示されます。

アナログ チャクシン
O: ヒョウジケンガイ

ご注意

- INSナンバー・ディスプレイを契約しないで、Atermにナンバー・ディスプレイを設定しても、電話回線(アナログ網)からの電話番号は表示されません。また、この状態でナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を接続しても、「ヒョウジケンガイ」と表示されます。
- INSナンバー・ディスプレイご利用の場合、着信中はらくらくユーティリティの[OK]ボタンや[登録]ボタンをクリックしないでください。
- 1つのアナログポートに複数のアナログ通信機器を接続した場合、ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器を使用している場合でも電話番号が正常に表示されません。
- 相手が使用しているPHSやデジタル携帯電話の機種によっては、電話番号が表示されないことがあります。

ご参考

- 発信者番号通知については、「3.2.7 発信者番号通知(☎3-12ページ)をお読みください。
- お使いのアナログ通信機器がナンバー・ディスプレイに対応している場合でも、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- 通話中に新たな着信があった場合、キャッチホン・ディスプレイを契約していないときは発信者番号は表示されません。また通話が終了してすぐに着信音が鳴った場合、発信者番号は表示されません。

3.3.6 キャッチホン・ディスプレイ (INS ネット 64)

キャッチホン・ディスプレイは、通話中に別の相手から電話がかかってきた場合、相手の電話番号をAtermやキャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器のディスプレイに表示してお知らせするサービスです。

INSナンバー・ディスプレイによる着信時の表示を、キャッチホンのときも働くようにしたものと考えればよいでしょう。

INSネット64のキャッチホン、Atermの疑似キャッチホンで使うことができます。

■ 利用条件 ■

	疑似キャッチホンを利用する場合	INSキャッチホンを利用する場合
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ	INSナンバー・ディスプレイ INSキャッチホン
追加料金	付加サービス使用料	両方のサービスの付加サービス使用料
利用条件	キャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。	キャッチホン・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	アナログCポートでは、キャッチホン・ディスプレイが働きません。AポートまたはBポートを使用してください。	アナログCポートでは、キャッチホン・ディスプレイが働きません。AポートまたはBポートを使用してください。

■ ナンバー・ディスプレイを設定する ■

ナンバー・ディスプレイを使用するように設定します。

「3.3.5 INSナンバー・ディスプレイとINSナンバー・リクエスト (☞3-29ページ)

■ キャッチホンを設定する ■

疑似キャッチホン、またはINSキャッチホンを使用するための設定をします。

「3.3.1 INSキャッチホン / 疑似キャッチホン (☞3-16ページ)

■ キャッチホン・ディスプレイを設定する ■

キャッチホン・ディスプレイを使用する設定をします。

1. キャッチホン・ディスプレイの使用をチェックする

『らくらくユーティリティ画面フロー』Windows版(1.1 / 1.2)

[アナログポート] ボタン [Aポート]/[Bポート] タブ

キャッチホン・ディスプレイを使用する(C)

(初期値 チェックなし)

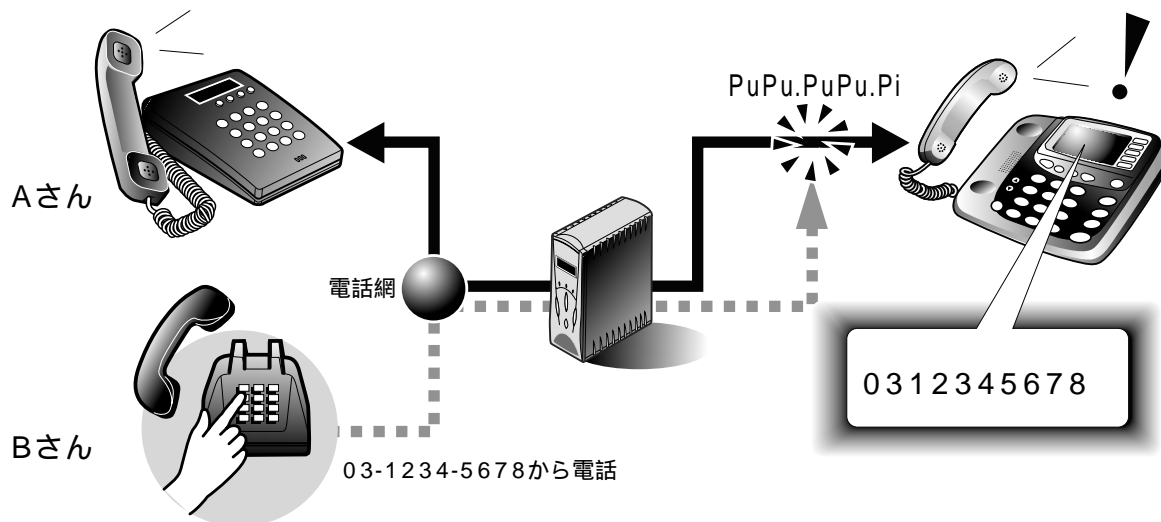
3 ● ご参考

キャッチホン・ディスプレイは、電話機から設定することもできます。

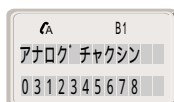
「 8. 電話機からの設定操作 」 (☞ 8-4 ページ)

■ キャッチホンを受ける ■

通話中に別の電話がかかってくると、新しい相手の電話番号が、Atermのディスプレイや、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器のディスプレイに表示されます。受ける操作は、通常のキャッチホンと同じです。



1. Aさんとの通話中に「プブ、プブ...、ピッ」という音が聞こえる
Atermのディスプレイと、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器のディスプレイには、新しくかけてきた相手であるBさんの電話番号が表示されます。



2. フッキングする
Bさんの電話に出ることができます。Bさんと話している間、Aさんには保留音が流れます。
3. もう一度フッキングする
Aさんとの通話に戻り、Bさんには保留音が流れます。以降、フッキングするたびに相手が交互に切り替わります。

? こんなときは

相手から電話番号が通知されなかったときは、通知されない理由が表示されます。
「相手から電話番号が通知されなかった場合」(☞3-31ページ)

🔍 ご注意

- お使いのアナログ通信機器がキャッチホン・ディスプレイに対応していても、機種によっては、発信者番号が正常に表示されないことがあります。
- 相手からサブアドレスが通知された場合、Atermは電話番号とサブアドレスを/(スラッシュ)で区切って、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に通知します。
ただし、アナログ通信機器にサブアドレスの表示機能がない場合は、Atermの「発・着サブアドレスを通知しない」を設定してください(☞3-69ページ)。
- キャッチホン・ディスプレイの割り込み音は、「プブ、プブ...」のあとに「ピッ」が聞こえます。「ピッ」が通話の声などに重なると、電話番号が正しく表示されないことがあります。また、1秒程度通話がとぎれます。
- お出かけ設定の「おやすみモード」や「フラッシュモード」、または「停電時にブザーを鳴らす」を設定していると、電話番号が正しく表示されないことがあります。
- 内線通話中に外線から着信があったときは、キャッチホンの設定をしていなくても、キャッチホン・ディスプレイ対応のアナログ通信機器に電話番号を表示します。

3.3.7 i・ナンバー (INS ネット 64)

電話とファクスを別々の電話番号にするなど、1本のINSネット64で2つの電話番号を使いたいときは、INSネット64のi・ナンバーを利用します。

契約者回線番号が i・ナンバー情報1、ダイヤルイン番号(追加番号)が i・ナンバー情報2となります。

■ 利用条件 ■

i・ナンバー	
追加契約	i・ナンバー
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	-
その他	i・ナンバーで使えるのは2つの電話番号です。3つ以上の電話番号を使用したいときは、ダイヤルインサービスをご利用ください。

■ i・ナンバーを設定する ■

i・ナンバーを利用する設定と、着信番号の登録、着信させるポートの設定を行います。

1. i・ナンバー使用を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1i)

[番号テーブル] ボタン

「i・ナンバーを使用する」を選択します。



2. 電話番号を入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1i)

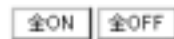
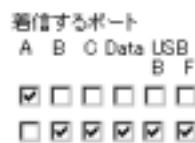
i・ナンバー情報1に契約者回線番号を、i・ナンバー情報2に追加番号を入力します。

	電話番号	内線 指定番号
i・ナンバー情報 1(1)	0311111111	
i・ナンバー情報 2(2)	0311112222	

3. 着信させるポートを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1i)

i・ナンバー情報ごとに、着信させるポートをチェックします。複数のポートをチェックしてもかまいません。



[全ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信するようになります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。

● 参考

i・ナンバーは、電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(8-9, 8-12ページ)

3.3.8 ダイヤルインサービス (INS ネット 64)

電話機2台とファクスを別々の電話番号にするなど、1本のINSネット64で複数の電話番号を使いたいときは、INSネット64のダイヤルインサービスを利用します。

■ 利用条件 ■

	ダイヤルインサービス
追加契約	ダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス使用料(追加した番号分だけ料金が加算される)
利用条件	グローバル着信「利用する」を同時に契約してください。
その他	-

グローバル着信

ダイヤルインサービスを利用すると、着信時にAtermへ電話番号が通知されますが、契約者回線番号の通知も電話番号1個分としてカウントされるので、仮にダイヤルインで番号を2つ追加すれば、計3個分のダイヤルインサービスの料金がかかります。

しかし、グローバル着信の利用を併せて契約する(追加料金不要)と、契約者回線番号への着信時はAtermには電話番号が通知されず、料金が追加の2個分だけで済みます。このとき、Aterm側にグローバル着信の設定をしておく、電話番号が通知されない=契約者回線番号への着信と解釈しますので、契約者回線番号への着信とダイヤルイン番号への着信も呼び分けることができます。

■ ダイヤルインを設定する ■

グローバル着信を利用する設定と、着信番号の登録、着信させるポートの設定を行います。

1. i-ナンバーを使用しないを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（3.1）

[番号テーブル] ボタン

i-ナンバー①

i-ナンバーを使用しない i-ナンバーを使用する

2. グローバル着信するを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（3.1）

「グローバル着信する」を選択します。

契約者回線番号のグローバル着信②

グローバル着信しない グローバル着信する

3. 電話番号を入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（3.1）

契約者回線番号とダイヤルイン番号を入力します。

	電話番号
契約者回線番号①	0311111111
ダイヤルイン1番①	0311112222
ダイヤルイン2番②	0311113333
ダイヤルイン3番③	0311114444
ダイヤルイン4番④	
ダイヤルイン5番⑤	
ダイヤルイン6番⑥	
ダイヤルイン7番⑦	

4. 電話番号ごとに着信させるポートを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（3.1）

電話番号ごとに、着信させるポートをチェックします。複数のポートをチェックしてもかまいません。

着信するポート

A	B	C	Data	USB
	B	F		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[全ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信するようになります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。

● ご参考

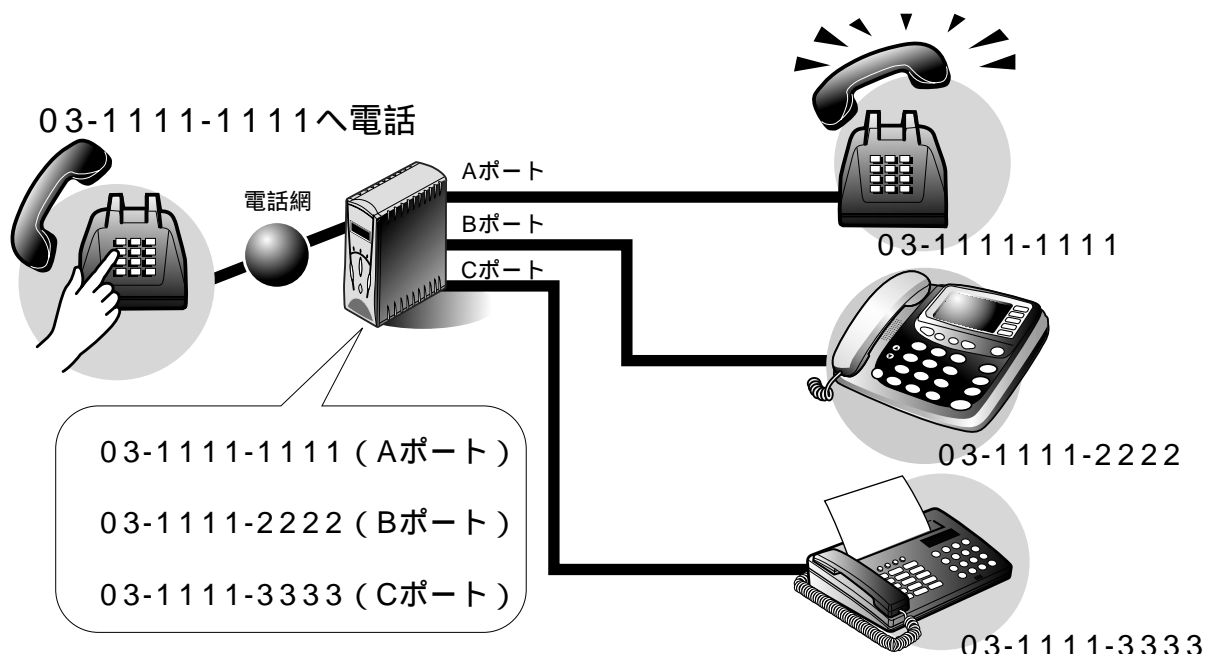
ダイヤルインは、電話機から設定することもできます。
「8.電話機からの設定操作」（☞ 8-9ページ）

■ ダイヤルインの呼び分けのしくみ ■

アナログAポートとBポートに電話機、Cポートにファクスを接続し、それぞれ別の番号で呼び分ける場合を例として説明します。

契約者回線番号(03-1111-1111)のほかに、2つのダイヤルイン番号(03-1111-2222、03-1111-3333)を契約し、グローバル着信を利用するとします。

契約者回線番号	03-1111-1111	着信	Aポート	1台目の電話機
ダイヤルイン番号1	03-1111-2222	着信	Bポート	2台目の電話機
ダイヤルイン番号2	03-1111-3333	着信	Cポート	ファクス



- 相手が03-1111-1111をダイヤルした場合
電話番号なしでAtermに着信します。Aポートにつないである1台目の電話機が呼び出されます。
- 相手が03-1111-2222をダイヤルした場合
03-1111-2222がAtermに通知されます。Bポートにつないである、2台目の電話機が呼び出されます。
- 相手が03-1111-3333をダイヤルした場合
03-1111-3333がAtermに通知されます。Cポートにつないである、ファクスが呼び出され、ファクスを受信します。

⚡ ご注意

INSネット64の契約が、「グローバル着信を利用する」となっているにもかかわらず、Atermの設定が「グローバル着信を利用しない」になっていると、契約者回線番号で着信できなくなります。ご注意ください。

3.3.9 モデム・ダイヤルイン

着信した電話番号を、モデム信号として電話機などに送出すサービスです。ファクス付き電話機の子機をファクス用とは別の電話番号で呼び分けたり、ホームテレホンの内線電話機をそれぞれ別の電話番号で呼び分けるときに使います。アナログ通信機器のダイヤルイン機能には、モデム・ダイヤルインとアナログ・ダイヤルインという2つの方式があります。お使いのアナログ通信機器の方式を調べ、ポートごとにどちらか1つを選択してください。

「3.3.10 アナログ・ダイヤルイン」(☞3-44ページ)

■ 利用条件 ■

モデム・ダイヤルイン	
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	モデム・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	アナログCポートには、モデム・ダイヤルインを設定できません。AポートまたはBポートを使用してください。

●ご参考・・・・・・・・

- ・ ナンバー・ディスプレイ対応のアナログ通信機器は、モデム・ダイヤルイン対応となります。ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、モデム・ダイヤルイン機能をご利用ください。
- ・ サブアドレスを設定すると、サブアドレスも送われます。

■ モデム・ダイヤルインを設定する ■

モデム・ダイヤルインを使用する設定と、アナログ通信機器に送出する番号を登録します。

i・ナンバー利用の場合

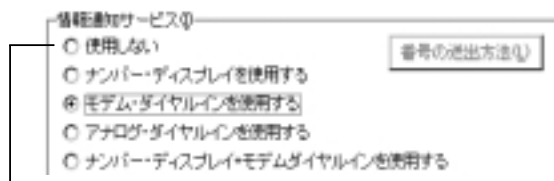
1. モデム・ダイヤルインを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ

Windowsの場合は、「モデム・ダイヤルインを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルインを使用する」を選択します。

Macintoshの場合は、「モデム・ダイヤルイン」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン」を選択します。



(初期値)

ダイヤルインサービス利用の場合

1. モデム・ダイヤルインを選択する

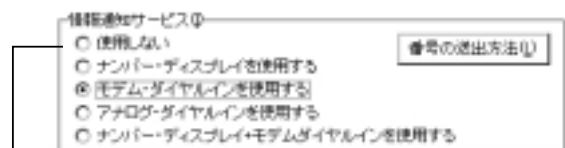
『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ

1) Windowsの場合は「モデム・ダイヤルインを使用する」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルインを使用する」を選択する

Macintoshの場合は、「モデム・ダイヤルイン」または「ナンバー・ディスプレイ + モデム・ダイヤルイン」を選択する

2) [番号の送出方法]ボタンをクリックする



(初期値)

2. 内線番号を設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.2 / 1.2.2)

1) [電話番号をそのまま送出]または[内線指定番号に変換して送出]を選択する

2) 内線番号を使うときは、内線指定番号4ケタを入力する

アナログダイヤルイン/モデムダイヤルインでの内線番号の送出方法			
	電話番号をそのまま送出	内線指定番号に変換して送出	内線指定番号(最大4桁)
内線指定番号	00111111	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text"/>
ダイヤルインの番号	00111222	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text"/>
ダイヤルインの番号	00111333	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text"/>
ダイヤルインの番号	00111444	<input checked="" type="radio"/>	<input type="text"/>

●ご参考.....

モデム・ダイヤルインは、電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☎8-5,8-9ページ)

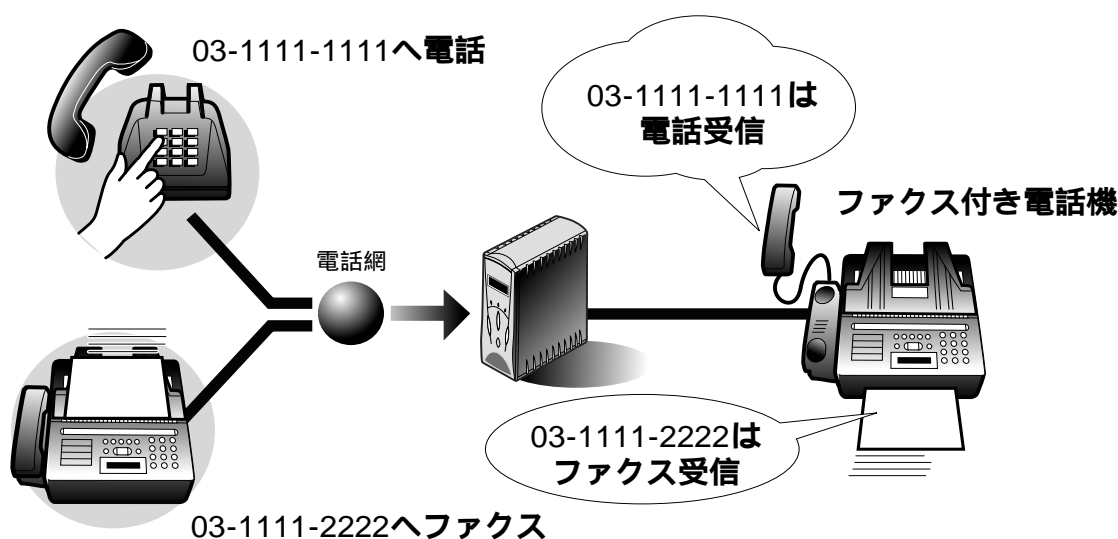
■ アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する ■

登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。
登録する電話番号は、Atermに設定した電話番号と一致させる必要があります。

■ 呼び分けのしくみ ■

例:内線番号を設定しない場合

アナログAポートに接続されたファクス電話を、電話は03-1111-1111、ファクスは03-1111-2222で受けるように設定しておきます(内線番号を設定しない)。ファクス受信のときは、着信音を鳴らさず、自動受信するように設定しておきましょう。



- 03-1111-1111(電話用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に03-1111-1111をモデム信号で通知します。電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 03-1111-2222(ファクス用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に03-1111-2222をモデム信号で通知します。ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

●ご参考・・・・・・・・

- ダイヤルインサービスをご利用の場合は、内線番号を設定すると、電話番号の代わりに内線番号が通知されます。i・ナンバーをご利用の場合は、内線指定番号をアナログ通信機器に送することはできません。
- ファクス付き電話機でキャッチホンを設定したときは、電話中にファクスあての着信が入った場合も電話機に「ププッ」という音が聞こえます。
- ファクス付き電話機でリング呼び返し動作の場合は、ファクスと電話機の両方が呼び出されます。

3.3.10 アナログ・ダイヤルイン

着信した電話番号を、プッシュボタン信号として電話機などに送出すサービスです。

ファクス付き電話機の子機をファクス用とは別の電話番号で呼び分けたり、ホームテレホンの内線電話機をそれぞれ別の電話番号で呼び分けるときに使います。アナログ通信機器のダイヤルイン機能には、モデム・ダイヤルインとアナログ・ダイヤルインという2つの方式があります。お使いのアナログ通信機器のダイヤルインの方式を調べ、ポートごとにどちらか1つを使用してください。

「3.3.9 モデム・ダイヤルイン」(P.3-41ページ)

■ 利用条件 ■

アナログ・ダイヤルイン	
追加契約	INSネット64のi・ナンバーか、ダイヤルインサービスで最低1つの追加番号の契約が必要です。
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	アナログ・ダイヤルインに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	アナログCポートには、アナログ・ダイヤルインを設定できません。AポートまたはBポートを使用してください。

◆ ご注意

- ・ 「アナログ・ダイヤルインを使用する」に設定したアナログポートに対して、内線通話や内線転送はできません。
- ・ INSナンバー・ディスプレイ契約時は、アナログ・ダイヤルインの使用はできませんので、モデム・ダイヤルインをご使用ください。
- ・ おやすみモード中、INSなりわけ、疑似なりわけ利用中ならびにブザー呼出時は、ご利用になれません。

■ アナログ・ダイヤルインを設定する ■

アナログ・ダイヤルインを使用する設定と、アナログ機器に送出する番号を登録します。

i・ナンバー利用の場合

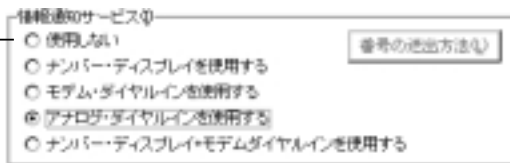
1. アナログ・ダイヤルインを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ

Windowsの場合は、「アナログ・ダイヤルインを使用する」を選択します。

Macintoshの場合は、「アナログ・ダイヤルイン」を選択します。



(初期値)

2. 内線番号を設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1i)

[番号テーブル]ボタン

電話番号テーブルに内線指定番号4ケタを入力します。

	電話番号	内線指定番号
i・ナンバー情報 1(1)	0311111111	1111
i・ナンバー情報 2(2)	0311112222	2222

ダイヤルインサービス利用の場合

1. アナログ・ダイヤルインを選択する

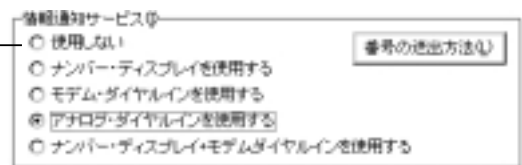
『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1 / 1.2)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]タブ

1) 「アナログ・ダイヤルインを使用する」を選択する

Macintoshの場合は、「アナログ・ダイヤルイン」を選択する

2) [番号の送出方法]ボタンをクリックする



(初期値)

2. 内線番号を設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.2 / 1.2.2)

内線番号を使用する場合は、以下の手順で設定します。

1) 「内線指定番号に変換して送出」を選択する

2) 内線指定番号4ケタを入力する

アナログ・ダイヤルイン/モデム・ダイヤルインでの内線番号の送出方法

内線番号	電話番号	内線指定番号	内線指定番号(最大4桁)
0311111111	0311111111	1111	1111
0311122222	0311122222	2222	2222
0311133333	0311133333	3333	3333
0311144444	0311144444	4444	4444

● 参考

アナログ・ダイヤルインは、電話機から設定することもできます。

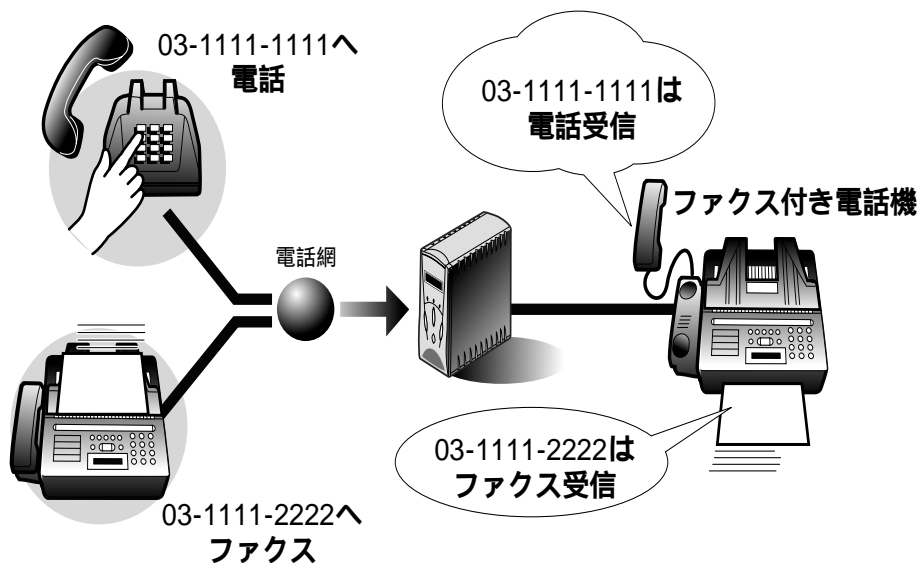
「8. 電話機からの設定操作」(図8-5, 8-9ページ)

■ アナログ通信機器にダイヤルイン番号を登録する ■

登録方法は、お使いのアナログ通信機器の取扱説明書をお読みください。
登録する電話番号は、Atermに設定した電話番号と一致させる必要があります。

■ 呼び分けのしくみ ■

アナログAポートに接続されたファクス付き電話機を、電話は03-1111-1111(内線番号1111)、ファクスは03-1111-2222(内線番号2222)で受けるように設定しておきます。ファクス受信のときは、着信音を鳴らさず、自動受信するように設定しておきます。



- 03-1111-1111(電話用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に1111をプッシュボタン信号で通知します。電話機の着信音が鳴り、電話を受けることができます。
- 03-1111-2222(ファクス用)の番号に電話がかかってきた場合
Atermは、ファクス付き電話機に2222をプッシュボタン信号で通知します。ファクスが呼び出され、ファクスを自動的に受信します。

3.3.11 INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト(INSネット64)

電話がかかってきたときに、INSボイスワープを使って他の電話に転送します。INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトは、ネットワーク転送型の転送サービスです。フレックスホンの着信転送サービスとは異なり、次の4つの転送条件から1つをあらかじめ選択しておける高機能版転送サービスです。

- ・ かかってきた電話を無条件で転送する(無条件転送)
- ・ あらかじめ設定した秒数を超えた場合に転送する(無応答時転送)
- ・ 通話中でふさがっているときのみ転送する(話中時転送)
- ・ 無応答または話中時に転送する(無応答または話中時転送)

参考

INSボイスワープ、INSボイスワープ・セレクトの詳細については、NTT窓口にお問い合わせください。

ボイスワープ転送モードを設定時、でかけるボタンでボイスワープサービスの開始/停止を行うことができます。

■ INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクトの違い ■

INSボイスワープは、契約者回線番号や追加番号ごとに契約できます。

	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加契約	INSボイスワープ	INSボイスワープ・セレクト
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	相手を問わず、転送します。	あらかじめ登録された相手からの着信のみ転送します。
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・通信機器が「スティミュラスプロトコル(キーバッドプロトコル)手順」をサポートしている必要がありますが、Atermは、この手順をサポートしているので問題ありません。 ・NTTに転送先の電話番号などを登録する必要があります。登録方法などサービスの詳細は、NTTにお問い合わせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信機器が「スティミュラスプロトコル(キーバッドプロトコル)手順」をサポートしている必要がありますが、Atermは、この手順をサポートしているので問題ありません。 ・NTTに転送先の電話番号などを登録する必要があります。登録方法などサービスの詳細は、NTTにお問い合わせください。

1 INSボイスワープ・セレクトは、INSボイスワープのオプションサービスです。

■ 転送先電話番号を登録する ■

転送先電話番号の登録は、電話機から行います。登録方法は、INSボイスワープの説明書をお読みください。詳細は、NTTにお問い合わせください。

■ ボイスワープ転送を設定する ■

ボイスワープ転送モードを選び、転送開始モードを登録します。初めてのときはINSボイスワープを契約した電話番号も登録してください。

ボイスワープは、電話番号ごとに設定できます。

1. 「ボイスワープ転送モード」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4)

[アナログポート]ボタン [共通設定(着信)]タブ

- 1) 「ボイスワープ転送モード」を選択する
- 2) [ボイスワープ設定]ボタンをクリックする



(初期値)

2. 契約電話番号を入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.2)

契約電話番号を入力します。

契約電話番号(A)

3. 転送開始モードを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.2)

転送開始モードから1つを選択します。

転送開始モード(B)	起動電話番号
<input type="radio"/> 無条件に転送	<input type="text" value="14211"/>
<input type="radio"/> 無応答時に転送	<input type="text" value="14212"/>
<input checked="" type="radio"/> 話中時に転送	<input type="text" value="14213"/>
<input type="radio"/> 無応答/話中時に転送	<input type="text" value="14214"/>
停止用電話番号(C)	<input type="text" value="1420"/>

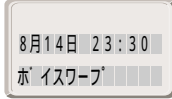
●ご参考・・・・・・・・

- 起動電話番号、停止電話番号とはボイスワープサービス開始/停止用の電話番号です。INSボイスワープサービスの番号が変更されたときだけ、ここの番号を変更します。通常は変更しないでください。
- ボイスワープは、電話機から設定することもできます。
「8. 電話機からの設定操作」(☞8-8ページ)

■ ボイスワープ転送を開始 / 停止する ■

らくらくユーティリティや前面ボタンで「ボイスワープ転送モード」を設定したあと、でかけるボタンを使用します。

1. でかけるボタンを上から押す



でかけるボタンのランプが赤く点灯し、ボイスワープが開始されます。Atermがボイスワープセンタに自動的に電話をかけて、転送サービスを開始します。

2. 転送を停止するときは、もう一度でかけるボタンを押す

でかけるボタンのランプが消灯します。Atermが自動的にボイスワープセンタと通信を行い、転送サービスを停止します。

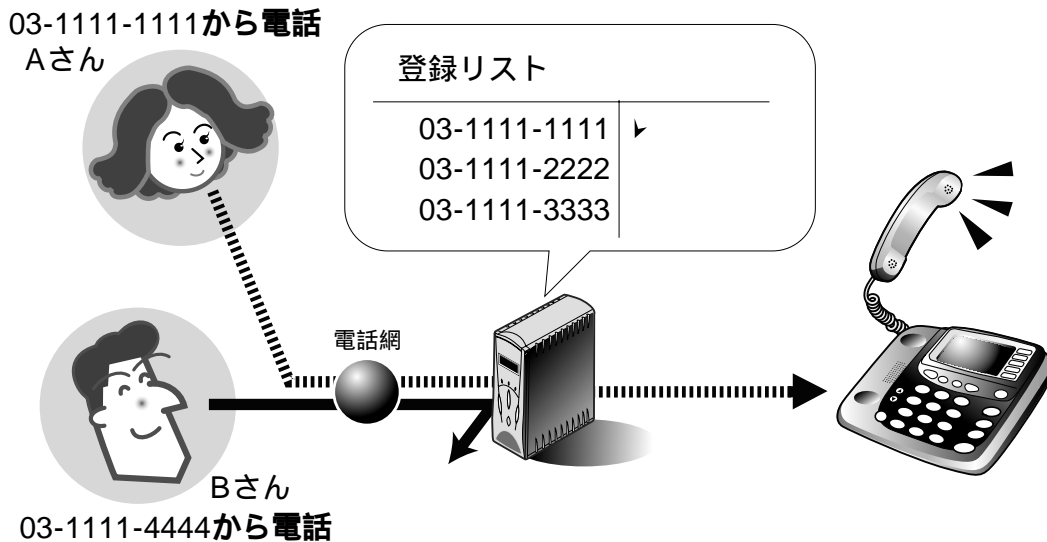
● ご参考

- でかけるボタンは、工場出荷状態ではロックされています。Selectボタンを押しながらでかけるボタンを押すと解除されます。
- でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、数秒待ってから押してください。

3.3.12 INSなりわけ識別着信(INSネット64)/ 疑似識別着信(Aterm機能)

あらかじめ登録している特定の相手からの電話のみを着信させ、それ以外の電話は一切受け付けないようにします。

INSなりわけサービスのセキュリティ機能を使う方法と、Atermの疑似識別着信を使う方法があります。



Aさんの電話は受け、Bさんの電話は受けない

●ご参考・・・・・・・・

- INSなりわけサービスは、特定の相手からの着信であるかどうかを識別できるサービスです。あらかじめ登録した電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知され、登録されていない電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知されません。「識別着信情報」の有無によって、次のような機能を利用できます。

セキュリティ機能

識別リング機能(☞3-54ページ)

選択キャッチホン機能(☞3-57ページ)

- 識別着信番号として登録した番号は、3つのアナログポートとデータポートで共用です。
- 登録した番号と通知された番号は、桁数の末尾から短い方の番号の桁数まで照合し、一致したときに着信を受け付けます。

■ INSなりわけ識別着信 (INSネット64) / 疑似識別着信 (Aterm機能) の違い ■

	INSネット64 INSなりわけサービス セキュリティ機能 (INSなりわけ識別着信)	Aterm 疑似識別着信
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	-	-
利用条件	通信機器が「スティミュラスプロトコル(キーバッドプロトコル)手順」をサポートしている必要がありますが、Atermは、この手順をサポートしているので問題ありません。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合、電話回線(アナログ網)からの着信は識別できません。
その他	NTTに相手の電話番号を登録する必要があります。登録方法などについては、NTTにお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録可能です。

 **ご注意**

識別着信と選択キャッチホンを同時に利用することはできません。

■ 識別着信を設定する ■

INSなりわけサービスの識別着信(INSネット64)と疑似識別着信の、どちらを利用するかを設定します。ポートごとに設定できるので、ファクスには、識別着信を利用しないといった設定が可能です。

1. 「INSなりわけ識別着信」か「疑似識別着信」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1 / 2.1 / 2.2 / 2.3)

アナログポート:[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ [高度な設定]ボタン

データポート:[データポート]ボタン [データポート]/[USB(B)ポート]/[USB(F)ポート]タブ [電話番号]選択

「INSなりわけ識別着信」または「疑似識別着信」を選択します。

データポートの場合は、「識別着信を行う」をチェックします。

識別着信

使用しない

INSなりわけ識別着信

疑似識別着信

通信中着信時のみ使用可能

電話帳

(初期値)

● ご参考

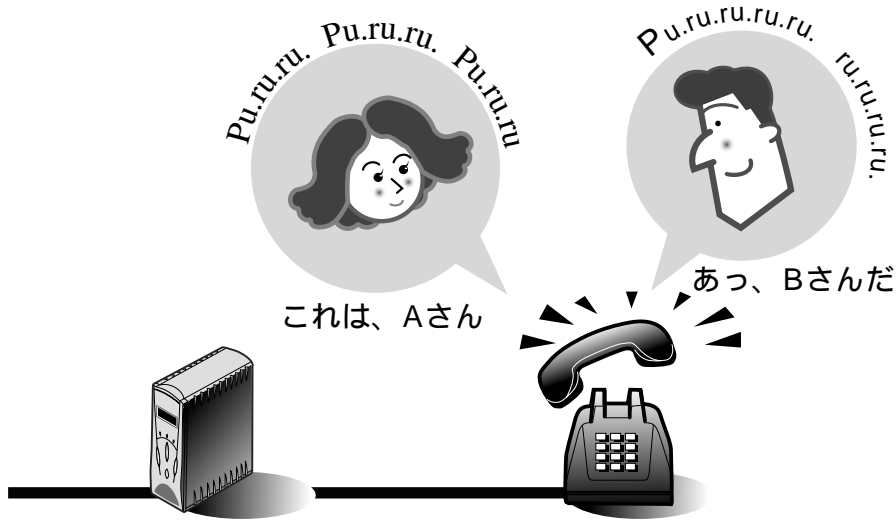
識別着信は、電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☞8-3ページ)

3.3.13 INSなりわけ識別リンググ(INSネット 64)/疑似なりわけ(Aterm機能)

あらかじめ登録している特定の相手から電話がかかってきたとき、通常とは異なる着信音を鳴らしてお知らせします。

INSなりわけサービスの識別リンググ機能を使う方法と、Atermの疑似なりわけを使う方法があります。



Aさんからの電話 “プルルルルルルル” 普通の呼出音

Bさんからの電話 “プルルル、ルルルル” Bさんからの電話がすぐにわかる

●ご参考・・・・・・・・

INSなりわけサービスは、特定の相手からの着信であるかどうかを識別できるサービスです。あらかじめ登録した電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知され、登録されていない電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知されません。「識別着信情報」の有無によって、次のような機能を利用できます。

識別リンググ機能

セキュリティ機能(☎3-50ページ)

選択キャッチホン機能(☎3-57ページ)

■ INSなりわけ識別リングング(INSネット64) / 疑似なりわけ(Aterm機能)の違い ■

	INSネット64 INSなりわけサービス 識別リングング機能	Aterm 疑似なりわけ
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	-	-
利用条件	通信機器が「ステミュラスプロトコル(キーバッドプロトコル)手順」をサポートしている必要がありますが、Atermは、この手順をサポートしているので問題ありません。	INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合、電話回線(アナログ網)からの着信をなりわけすることはできません。
その他	NTTに相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTTにお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録可能です。

■ なりわけを設定する ■

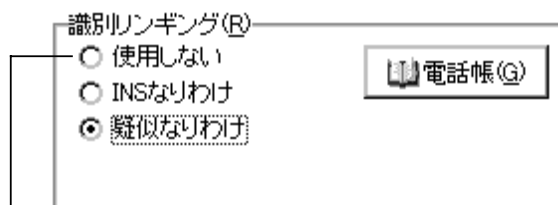
INSなりわけの識別リングング(INSネット64)と疑似なりわけの、どちらを利用するかを設定します。ポートごとに設定できるので、ファクスには、なりわけを利用しないとといった設定が可能です。

1. 「INSなりわけ」が「疑似なりわけ」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ [高度な設定]ボタン

「INSなりわけ」または「疑似なりわけ」を選択します。



(初期値)

● 参考

なりわけは、電話機から設定することもできます。

「8. 電話機からの設定操作」(☞8-4ページ)

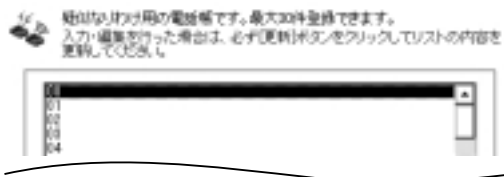
■ なりわけ用の電話番号を登録する ■

疑似なりわけを利用する場合、特別の着信音で鳴らす電話番号を、疑似なりわけ用の電話帳に登録します。30件まで登録可能です。

● ご参考

INSなりわけ識別リングングをご利用になる場合は、Atermの電話帳ではなく、NTTに電話番号を登録しなければなりません。登録方法などについては、NTTにお問い合わせください。

1. 一覧から空いている番号を選択する
『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.4)
[電話帳]ボタン [疑似なりわけ]タブ
(なりわけの設定から続けて行うときは、なりわけのところの[電話帳]ボタンをクリックすると、同じ画面になります)
一覧の中で空いている番号をクリックします。



2. 名前・電話番号・サブアドレスを入力する
『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.3)
 - 1) 相手の名前を入力する
 - 2) 電話番号(市外局番から)を入力する
 - 3) 必要ならサブアドレスを入力する

名前(名)	日電太郎	
電話番号(名)	0311119999	/ [234]
サブアドレス(名)		

3. [更新]ボタンをクリックする
4. 続けてほかの番号を登録するときは、手順1～3を繰り返す

▼ ご注意

相手が自分の電話番号を通知しないで電話をかけてきた場合、電話帳に登録してあってもその相手をなりわけすることはできません。

? こんなときは

- ・ 登録済みの電話番号を変更したい場合、手順1で修正する番号を選択し、新しい電話番号に変更してください。
- ・ 登録済みの電話番号を削除したい場合、手順1で削除する番号を選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。

● ご参考

疑似なりわけ用の電話番号は、電話機から登録することもできます。
「8. 電話機からの設定操作」(☎8-11ページ)

3.3.14 選択キャッチホン(INSネット64)/ 疑似選択キャッチホン(Aterm機能)

通話中に、あらかじめ登録している特定の相手から電話がかかってきた場合だけ、割込音を鳴らしてお知らせします。フッキング操作によって、現在の電話の相手を保留し、新しくかかってきた相手と話すことができます。登録していない相手からのキャッチホンは受け付けません。

INSなりわけサービスの選択キャッチホン機能を使う方法と、Atermの疑似選択キャッチホンを使う方法があります。

●ご参考・・・・・・・・

INSなりわけサービスは、特定の相手からの着信であるかどうかを識別できるサービスです。あらかじめ登録した電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知され、登録されていない電話番号からの着信には「識別着信情報」が通知されません。「識別着信情報」の有無によって、次のような機能を利用できます。

選択キャッチホン機能

セキュリティ機能(☎3-50ページ)

識別リング機能(☎3-54ページ)

■ INSなりわけ選択キャッチホン(INSネット64)/ 疑似選択キャッチホン(Aterm機能)の違い ■

	INSネット64 INSなりわけサービス 選択キャッチホン機能	Aterm 疑似選択キャッチホン
追加契約	INSなりわけサービス	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	Bチャンネルを1本しか使わないため、空いているポートで通話や通信が可能です。	B1・B2チャンネルを両方使うため、キャッチホンが入ったときは、他のポートを使用できません(内線通話のみ可能)。
利用条件	通信機器が「スティミュラスプロトコル(キーバッドプロトコル)手順」をサポートしている必要がありますが、Atermは、この手順をサポートしているので問題ありません。	・INSナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合、電話回線(アナログ網)からの選択キャッチホンは受け付けられません。 ・ナンバー・ディスプレイに対応したアナログ通信機器が必要です。
その他	NTTに相手の電話番号を登録します。登録方法などについては、NTTにお問い合わせください。	Atermの電話帳に相手の電話番号を登録します。最大で30件まで登録可能です。

◆ ご注意

選択キャッチホンと識別着信を同時に利用することはできません。

■ 選択キャッチホンを設定する ■

INSなりわけサービスの選択キャッチホンと疑似選択キャッチホンの、どちらを利用するかを設定します。ファクスやモデムを接続したポートには、キャッチホンを設定しないでください。

1. 「INSなりわけ識別着信」か「疑似識別着信」を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ [高度な設定]ボタン

INSなりわけ選択キャッチホンを利用するときは「INSなりわけ識別着信」を、疑似選択キャッチホンを利用するときは「疑似識別着信」を選択します。

識別着信
 使用しない
 INSなりわけ識別着信
 疑似識別着信

(初期値)

2. 「通信中着信時のみ使用可能」をチェックする

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

「通信中着信時のみ使用可能」をチェックします。

通信中着信時のみ使用可能(D)
(初期値 チェックなし)

● ご注意

選択キャッチホンは、電話機から設定することもできます。
「8.電話機からの設定操作」(☎8-3ページ)

■ 疑似選択キャッチホン用の電話番号を登録する ■

疑似選択キャッチホンを利用する場合は、着信を許可する電話番号を、疑似識別着信用の電話帳に登録します。30件まで登録可能です。

登録方法は、「疑似識別着信用の電話番号を登録する」(☎3-53ページ)をお読みください。

3.3.15 迷惑電話おことわりサービス(INSネット64)/迷惑電話防止(Aterm機能)

迷惑電話やいたずら電話などの着信を拒否する機能です。拒否する相手の電話番号をあらかじめ登録しておけば、相手から電話がかかってきても着信音が鳴りません。

■ 迷惑電話おことわりサービス(INSネット64)/迷惑電話防止(Aterm機能)の違い ■

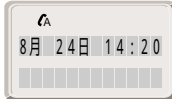
	INSネット64 迷惑電話おことわりサービス	Aterm 迷惑電話防止
追加契約	迷惑電話おことわりサービス6/ 迷惑電話おことわりサービス30	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料	付加サービス使用料
サービスの違い	<ul style="list-style-type: none"> ・迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録します。 ・相手にはメッセージが流れます。 ・登録できる最大件数は、迷惑電話おことわりサービス6の場合は6件、迷惑電話おことわりサービス30の場合は30件です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・迷惑電話がかかってきたときにすぐに登録する方法とあとから登録する方法があります。 ・相手には話中音が聞こえます。 ・登録できる最大件数は20件です。
利用条件	-	<ul style="list-style-type: none"> ・INSナンバー・ディスプレイ(☎3-29ページ)の契約をしていない場合、電話回線(アナログ網)からの着信を拒否することはできません。 ・相手が発信者番号通知をしていない場合、電話番号を登録していても迷惑電話防止機能は働きません。ただし、発信者番号を通知しない着信すべてを拒否することは可能です。
その他	迷惑電話があったらすぐに登録する必要があります。登録方法などについては、NTTにお問い合わせください。	-

■ かかってきた電話をすぐに登録する ■

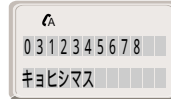
今かかってきた電話を切ったあと、すぐに登録する方法です。相手の電話番号を入力する必要がありません。

Atermの迷惑電話防止機能を利用する場合の登録方法です。INSネット64の迷惑電話おことわりサービスの登録方法については、NTTにお問い合わせください。

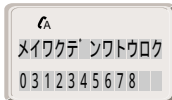
1. 電話機の受話器をあげる



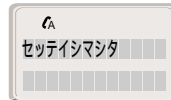
3. **1** を押す



2. ***** ***** **5** **2** を順に押す



4. **#** を押す



5. 受話器を戻す

◆ ご注意

- ・ 相手が自分の電話番号を通知してこなかった場合、手順3で「P:ヒツウチキョヒシマスか?」というメッセージが表示されます。この場合も、**#** を押すと迷惑電話に登録できますが、非通知の電話がすべて拒否されますので注意してください。公衆電話からかけてきた場合の「C:コウシュウデンワ」、電話番号を通知できない地域や機種からかけてきた場合の「O:ヒョウジケンガイ」も同様です。
- ・ 着信した電話機からのみ登録できます。

■ 電話番号を指定して登録する ■

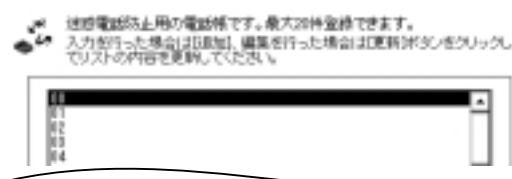
相手の電話番号を1つずつ登録します。

Atermの迷惑電話防止機能を利用する場合の登録方法です。INSネット64の迷惑電話おことわりサービスの登録方法については、NTTにお問い合わせください。

1. 一覧から空いている番号を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.5)

[電話帳]ボタン [迷惑電話防止]タブ
一覧の中で空いている番号をクリックします。



2. 名前・電話番号を入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.5)

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する

名前①	日電太郎
電話番号②	0311119999
<input type="checkbox"/> 非通知③ <input type="checkbox"/> 表示圏外④ <input type="checkbox"/> 公衆⑤	

3. [追加]ボタンをクリックする

4. 続けてほかの番号を登録するときは、手順1～3を繰り返す

▼ ご注意

迷惑電話防止で電話番号を設定していても、相手が自分の電話番号を通知してこない、迷惑電話防止機能は働きません。

? こんなときは

- ・ 自分の電話番号を通知してこない電話の着信を拒否するときは、手順2で電話番号を設定する代わりに、「非通知」、「表示圏外」、「公衆」のいずれかをチェックしてください。「非通知」は自分の電話番号を通知しない着信、「表示圏外」は電話番号を通知できない地域や機種からの着信、「公衆」は公衆電話からの着信です。
- ・ 登録済みの電話番号を変更したい場合、手順1で修正する番号を選択し、新しい電話番号に変更し、[更新]ボタンをクリックしてください。
- ・ 登録済みの電話番号を削除したい場合、手順1で削除する番号を選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。

● ご参考

迷惑電話防止用の電話番号の登録・表示・削除は、電話機から行うこともできます。
「8. 電話機からの設定操作」(☎8-13ページ)

3.3.16 優先着信ポート指定

優先的に着信させるポートを指定します。

たとえば、Aポートを優先着信ポートにすると、Aポートが空いていればAポートに接続した電話機だけが鳴ります。Aポートが空いていないときは、Bポート、Cポートに接続した電話機が鳴ります。データポートに優先順位をつけることもできます。

1. 優先着信ポートを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4 / 2.5b)

アナログポート:[アナログポート]ボタン [共通設定(着信)]タブ

優先着信ポートを1つ選択します。



(初期値)

データポート:[データポート]ボタン [共通設定]タブ [その他]選択



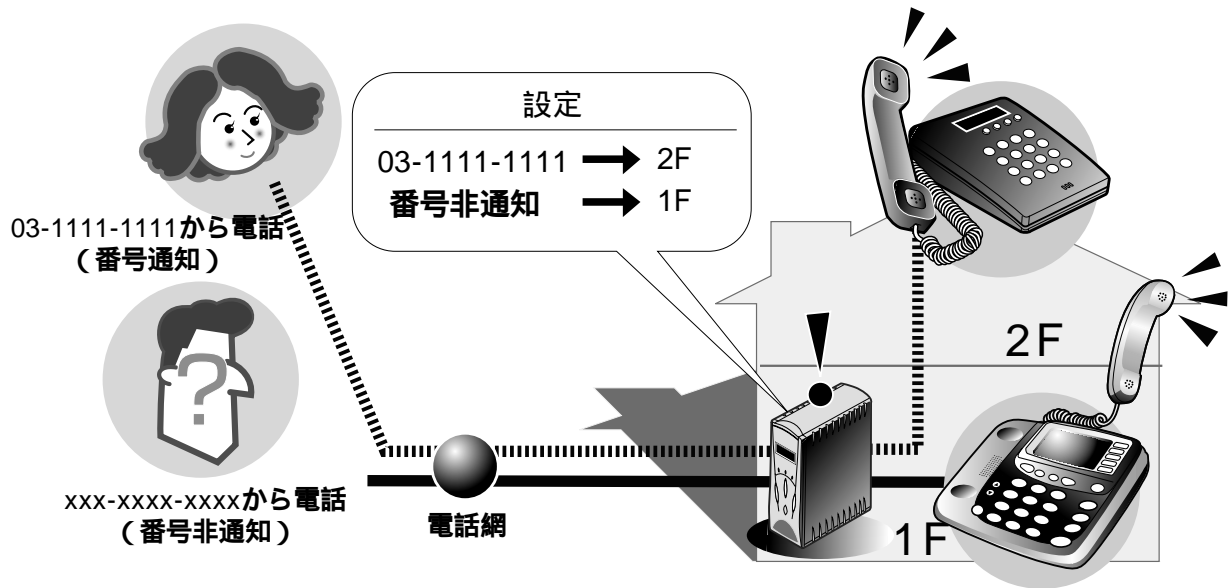
(初期値)

●ご参考・・・・・・・・

- ・ 優先着信ポートは、電話機から設定することもできます。
「8. 電話機からの設定操作」(☞8-7ページ)
- ・ ホームテレホン/ビジネスホンと接続する場合(☞付-5ページ)は、優先着信させるポートを指定してください。

3.3.17 マイプライベート着信

かけてくる相手によって、着信させる電話機を変える機能です。あらかじめ相手の電話番号と、着信させるポートを登録しておくことで、Atermが相手の電話番号を判別して、登録した電話機を鳴らします。たとえば、職場からの電話は仕事部屋の電話機へ、子供の友達からの電話は居間と子供部屋へ、電話番号を通知していない電話は居間へといったような使い方ができます。電話番号は30件まで登録可能です。



各部屋でそれぞれ電話を受ける

■ 利用条件 ■

マイプライベート着信	
追加契約	INSナンバー・ディスプレイ
追加料金	付加サービス使用料
利用条件	<ul style="list-style-type: none"> ・INSナンバー・ディスプレイ(☎3-29ページ)の契約をしていない場合、電話回線(アナログ網)からの着信を識別することはできません。 ・識別着信を使用している場合、登録していない電話や電話番号を通知してこない電話には着信させません。
その他	-

■ マイプライベート着信を設定する ■

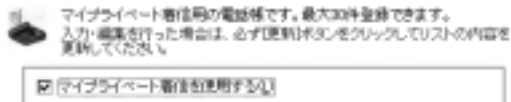
マイプライベート着信を使用するように設定します。

1. マイプライベート着信を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.2)

[電話帳]ボタン [マイプライベート着信]タブ

「マイプライベート着信を使用する」をチェックします。



(初期値 チェックなし)

● 参考

マイプライベート着信は電話機から設定することもできます。

「8.電話機からの設定操作」(☞8-11ページ)

■ マイプライベート着信用の電話番号を登録する ■

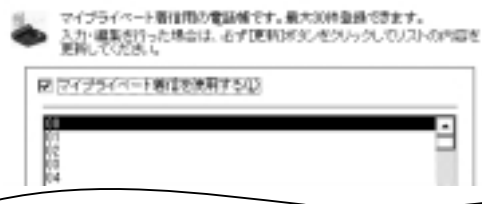
マイプライベート着信させる電話番号と着信ポートを登録します。30件まで登録可能です。

1. 一覧から空いている番号を選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.2)

[電話帳]ボタン [マイプライベート着信]タブ

一覧の中で空いている番号をクリックします。



2. 名前・電話番号・サブアドレスを入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.2)

- 1) 相手の名前を入力する
- 2) 電話番号(市外局番から)を入力する
- 3) 必要ならサブアドレスを入力する



3. ポートを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(4.2)

着信させるポートをチェックします。

呼び分けポート Aポート Bポート Cポート

4. [更新]ボタンをクリックする

5. 続けてほかの番号を登録するときは、手順1～4を繰り返す

? こんなときは

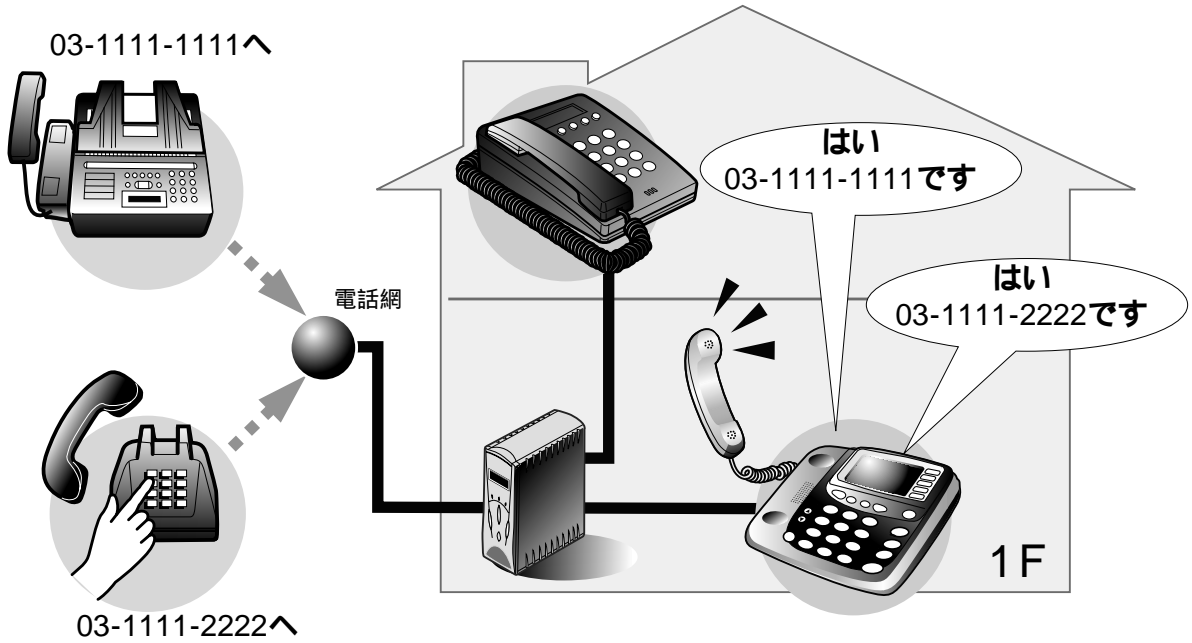
- 発信者番号を通知してこない電話を受ける着信ポートを設定するときは、手順2で電話番号やサブアドレスを設定する代わりに、「非通知」、「表示圏外」、「公衆」のいずれかをチェックしてください。「非通知」は自分の電話番号を通知しない着信、「表示圏外」は電話番号を通知できない地域や機種からの着信、「公衆」は公衆電話からの着信です。
- 登録済みの電話番号を変更したい場合、手順1で修正する番号を選択し、新しい電話番号に変更してください。
- 登録済みの電話番号を削除したい場合、手順1で削除する番号を選択したあと、[削除]ボタンをクリックしてください。

● ご参考

マイプライベート着信用の電話番号は、電話機から登録することもできます。
「8.電話機からの設定操作」(☎8-11ページ)

3.3.18 着信ダイヤルイン複数選択

1つのポート(アナログポートやデータポート)に複数の電話番号を着信させることができます。ダイヤルインサービスで複数の電話番号を契約してください。



いろんな電話番号で1つの電話機に着信している

■ 利用条件 ■

着信ダイヤルイン複数選択	
追加契約	ダイヤルインサービス
追加料金	付加サービス利用料
利用条件	ダイヤルインサービスで複数の追加番号の契約が必要です。
その他	-

● ご参考

「3.3.8 ダイヤルインサービス」(☎3-38ページ)

3
着信ダイヤルイン複数選択

■ 各ポートに電話番号を設定する ■

契約者回線番号やダイヤルイン番号を、着信させたいポートに割り当てます。

1. 追加のダイヤルイン番号を入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1)

[番号テーブル] ボタン

ダイヤルイン番号を追加で契約した場合は、追加分を入力します。

2. 電話番号ごとに着信させるポートを選択する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(3.1)

電話番号ごとに、着信させるポートをチェックします。複数のポートをチェックしてもかまいません。

着信するポート

	電話番号	着信するポート					
		A	B	C	Data	USB B	F
契約者回線番号(0)	0311111111	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン1番(1)	0311112222	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン2番(2)	0311113333	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン3番(3)	0311114444	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ダイヤルイン4番(4)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン5番(5)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン6番(6)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ダイヤルイン7番(7)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

[全ON] ボタンをクリックすると、すべてのポートにすべての電話番号が着信するようになります。[全OFF] ボタンをクリックすると、すべてのポートのチェックがはずれます。

● ご参考

着信番号の割り当ては、電話機から設定することもできます。

「8. 電話機からの設定操作」(☞ 8-4ページ)をお読みください。

3.3.19 サブアドレス

INSネット64の加入者どうしなら、電話をかけるときに、電話番号のほかにサブアドレスを加えることができます。

着信側で、ポートごとに異なるサブアドレスを設定しておく、発信側はサブアドレスで端末を呼び分けることができます。

サブアドレスはアナログポートとデータポートのどちらにも設定できます。

■ 利用条件 ■

サブアドレス	
追加契約	不要
追加料金	不要
利用条件	発信側・着信側両方が、INSネット64に加入している必要があります。
その他	-

■ 自己サブアドレスを設定する（着信側）■

着信側は、あらかじめポートごとにサブアドレスを設定しておきます。サブアドレスに使う番号は自由に決めることができます。

相手に電話番号と設定したサブアドレスを知らせてください。

1. サブアドレスを入力する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1 / 2.1 / 2.2 / 2.3）

アナログポート：[アナログポート]ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート]タブ [高度な設定]ボタン

データポート：[データポート]ボタン [データポート]/[USB(B)ポート]/[USB(F)ポート]タブ [電話番号]選択
サブアドレスを19ケタ以内の数字で入力します。

サブアドレス⑤

2. 必要ならサブアドレスなし着信を解除する

サブアドレスが指定されない着信を拒否するときは、「サブアドレスなし着信する」のチェックをはずします。データポートでは、セパレータも選択できます。

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』（1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1 / 2.1 / 2.2 / 2.3）

アナログポート：

（初期値 チェック済み）

データポート：

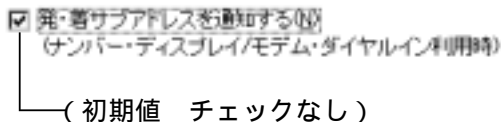
（初期値 チェック済み）

3. 必要なら、発・着サブアドレス通知を選択する

ナンバー・ディスプレイまたはモデム・ダイヤルインを使用する際に、発/着サブアドレスをアナログ通信機器に通知するときは、以下の設定を行います。

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

「発・着サブアドレスを通知する」をチェックします。



📌 ご注意

「サブアドレスなし着信をしない」に設定すると、サブアドレスが指定されない着信を一切受け付けなくなります。相手が電話回線(アナログ網)の場合、サブアドレスを付けて電話をかけることはできないので、ご注意ください。

📌 ご参考

サブアドレスは、電話機から登録することもできます。
「8. 電話機からの設定操作」(☞ 8-4ページ)

■ サブアドレスを付けて電話をかける(発信側) ■

相手の電話番号に、サブアドレスを付けて電話をかけます。
双方がINSネット64に加入している必要があります。

1. 電話機の手話器をあげる
2. [電話番号]+[*]+[サブアドレス]をダイヤルする
(例)電話番号 03-1111-1234、サブアドレス 100の場合

0	3	1	1	1	1		
1	2	3	4	*	1	0	0

 を押します。

■ 通話可能な組み合わせ ■

発信側のサブアドレス通知の有無と、着信側の設定の組み合わせによって、実際に通話できるかどうかが決まります。

			発信側	
			サブアドレス通知なし	サブアドレス通知あり
着信側	サブアドレスなし着信する	サブアドレス登録なし		×
		サブアドレス登録あり		アドレス一致 アドレス不一致 ×
	サブアドレスなし着信しない	サブアドレス登録なし	×	×
		サブアドレス登録あり	×	アドレス一致 アドレス不一致 ×

:通話可能 ×:通話拒否

3.3.20 識別着信転送(INSネット64/Aterm機能)

特定の相手からの電話のみを、登録しておいた番号へ自動的に転送します。
識別着信(INSなりわけ識別着信/疑似識別着信)で登録した相手のみを、転送する
(着信転送/疑似着信転送)機能です。

■ 識別着信転送を設定する ■

識別着信で相手を登録し、転送方法を設定します。

1. 識別着信を設定する

「3.3.12 INSなりわけ識別着信/疑似識別着信(☎3-50ページ)を参照し、識別着信の設定を行います。

疑似識別着信の場合は、Atermの電話帳に電話番号を登録してください。INSなりわけ識別着信の場合は、NTTに登録します。

2. 着信転送を設定する

「3.3.3 着信転送/疑似着信転送(☎3-22ページ)を参照し、転送条件と転送元・転送先の電話番号など、着信転送用の設定を行います。

ただし、手順3で転送条件を次のように設定してください。

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.4.1)

「INSなりわけ時に転送する」または「疑似識別着信時に転送する」を選択します。

転送条件(○)

使用しない(無条件に転送する)

INSなりわけ時に転送する

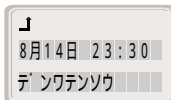
疑似識別着信時に転送する

(初期値)

■ 識別着信転送を開始/停止する ■

らくらくユーティリティや前面ボタンで「電話着信転送モード」を設定したあと、
でかけるボタンを使用します。

1. でかけるボタンを上から押す



でかけるボタンのランプが赤く点灯し、以降、登録している電話番号からの着信のみが転送されます。

2. 転送を停止するときには、でかけるボタンをもう一度押す

でかけるボタンのランプが消灯します。

● 参考

- でかけるボタンは、工場出荷状態ではロックされています。Selectボタンを押しながらでかけるボタンを押すと解除されます。
- でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、数秒待ってから押してください。

3.3.21 お出かけ設定(一部はINSネット64機能)

お出かけ設定は、就寝時や外出時など電話に出ることができないときに役立つ機能です。

着信時に着信音を鳴らさないようにする「おやすみモード」と「フラッシュモード」、他の電話番号へ転送する「電話着信転送モード」と「ボイスワープ転送モード」があります。

■ 各モードの違い ■

そのときの状況に応じて、次のモードから1つを使用できます。

- おやすみモード
電話がかかってきたとき、着信音を鳴らす代わりにAtermのディスプレイのピクトグラムを点滅させて知らせます。着信ポートがわかるので、電話に出ることができます。
- 電話着信転送モード
電話がきたとき、他の電話に転送したり、相手の電話番号を電子メールで知らせます。転送には、INSネット64の着信転送を使う方法と、Atermの疑似着信転送を使う方法があります。電話番号を電子メールで通知する(電話番号着信通知)では、BIGLOBEの遊遊メールを使います。電話着信転送モードを利用する場合は、NTTとの契約(着信転送利用時)や、転送方法や転送条件などの設定操作が必要です。詳しくは、「3.3.3 着信転送 / 疑似着信転送(☞3-22ページ)をお読みください。
- ボイスワープ転送モード
電話がきたとき、INSボイスワープを使ってほかの電話に転送します。INSボイスワープ/INSボイスワープ・セレクトの契約や、設定操作などが必要です。詳しくは、「3.3.11 INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト(☞3-47ページ)をお読みください。
- フラッシュモード
電話がきたとき、着信音を鳴らす代わりにでかけるボタンを点滅させて知らせます。どのポートに着信したかはわかりません。

🔍 ご注意

- おやすみモード中の着信に、コードレス子機で応答する場合、子機の[通話]ボタンや[外線]ボタンを押してください。ボタンを押さないと、数十秒で電話が切れることがあります。
- おやすみモードの利用時、[ナンバー・ディスプレイを使用する]を設定したアナログポートに着信があった場合でも、接続している電話機の種類によっては電話番号表示を行わないものがあります。
- おやすみモードの利用時、[モデム・ダイヤルインを使用する]を設定したアナログポートに着信があった場合、着信音を鳴らさないの着信している電話機が

わからなくなることがあります。

- ・ おやすみモードの利用時、[アナログ・ダイヤルインを使用する] を設定しているアナログポートへは着信しません。

	おやすみモード	電話着信転送モード	ボイスワープ転送モード	フラッシュモード
追加契約	不要	「着信転送」利用時は必要	INSボイスワープ / INSボイスワープ・セレクト	不要
追加料金	不要	「着信転送」利用時は必要	付加サービス使用料	不要
着信時の動作	<ul style="list-style-type: none"> ・でかけるボタンを点滅させます。また、着信したアナログポートのピクトグラム (A、B、C) を点滅させます。 ・一度でも着信があると、その後は、でかけるボタンが点滅したままとなります。 	着信転送と疑似着信転送の場合は、設定された電話番号に転送されます。電話番号着信通知の場合は、相手の電話番号が電子メールで通知されます。	設定された電話番号に転送されます。	でかけるボタンを点滅させます。どのポートに着信したかはわかりません。電話が切断されると、点灯に変わります。
利用条件	-	「電話番号着信通知」を利用するには、BIGLOBEの加入、遊遊メールの契約、INSネット64の発信者番号通知の契約が必要です。	-	-
その他	点滅したポートに接続した電話機の受話器をあげると、通話できます。	-	-	-

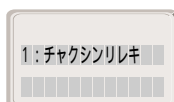
■ モードの切り替え ■

お出かけ設定を行うときは、まず、使用するモードを1つ選択します。Aterm前面のボタンを使って切り替える方法を説明します。

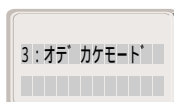
🔍 ご注意

- 電話着信転送モードを利用する場合、着信転送の種類や転送条件、転送元・転送先電話番号などは、らくらくユーティリティを使ってあらかじめ登録しておいてください。「3.3.3 着信転送 / 疑似着信転送」(☞3-22ページ)。一度登録すれば、あとはAtermの前面ボタンを使って、電話着信転送モードへ切り替えるだけで済みます。
- ボイスワープ転送モードを利用する場合、転送開始モードや契約電話番号はらくらくユーティリティを使ってあらかじめ登録しておいてください。「3.3.11 INSボイスワープとINSボイスワープ・セレクト」(☞3-47ページ)。一度登録すれば、あとはAtermの前面ボタンを使って、ボイスワープ転送モードへ切り替えるだけで済みます。

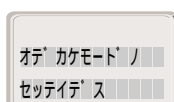
1. Menuボタンを押す



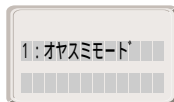
2. Selectボタンを2回押す



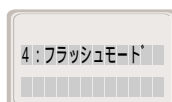
3. Enterボタンを押す



5秒後



4. Selectボタンを押して切り替える



Selectボタンを押すたびにモードが順番に切り替わります。

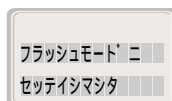
1:オヤスミモード

2:デンワテンソウスル
(電話着信転送モード)

3:ボイスワープセッテイ
(ボイスワープ転送モード)

4:フラッシュモード

5. Enterボタンを押す



選択したモードに設定されます。

? こんなときは

操作を途中で中止するときはMenuボタンを押します。

🔍 ご参考

らくらくユーティリティで、モードを切り替えることもできます。

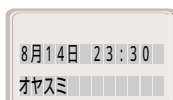
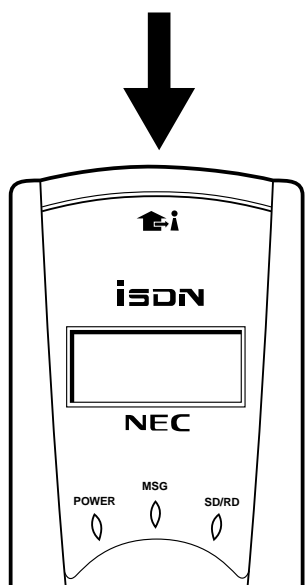
◆ ご注意

「バンゴウヲセッテイシテクダサイ」が表示されたときは、らくらくユーティリティを使って電話番号、転送条件などを登録してから、改めてボタン操作を行ってください。

■ お出かけ設定を開始 / 停止する ■

選択したモードを開始するには、でかけるボタンを押します。もう一度押すと、停止されます。

1. でかけるボタンを上から押す



でかけるボタンのランプが赤く点灯し、お出かけ設定が有効になります。開始されるモードは、一番最後に設定したモードです。毎晩おやすみモードにするなど、同じモードを続けて使用するときには、でかけるボタンを使用してください。

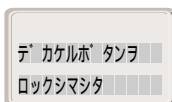
2. 動作を停止するときは、でかけるボタンをもう一度押す

でかけるボタンのランプが消灯します。

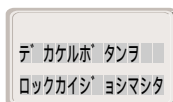
でかけるボタンをロックする

でかけるボタンを間違えて押さないように、ボタンをロックすることができます。ロックするときは、Selectボタンを押しながらでかけるボタンを押します。ロックを解除するときは、もう一度同じ操作を行います。

ロックしたとき



ロックを解除したとき



● 参考

- でかけるボタンは、工場出荷状態ではロックされています。Selectボタンを押しながらでかけるボタンを押すと解除されます。
- でかけるボタンを押したあと、もう一度押すときは、数秒待ってから押してください。

3.3.22 HLC

相手もINSネット64に加入している場合、接続する通信機器の種別をHLC(高位レイヤ整合性)に設定して、HLCが一致する相手とのみ通信を行うことができます。HLCはアナログポートとデータポートのどちらにも設定できます。

■ 利用条件 ■

	HLC
追加契約	不要
追加料金	不要
利用条件	発信側・着信側両方が、INSネット64に加入している必要があります。
その他	-

■ HLC 一覧 ■

HLCのコードは次のとおりです。アナログポートの場合、接続機器の種別を選択すると、機器に対応したHLCが自動的に設定されます。データポートには、コードを自由に設定できます。

コード	種別
01	電話
04	G2/G3ファクス
33	G4ファクス
36	ミックスモード
49	テレテックス
50	ビデオテックス
53	テレックス
56	メッセージ処理システム(MHS)
65	OSIアプリケーション

アナログポートに自動設定されるコード

接続機器	コード	種別
電話	01	電話
FAX/モデム	04	G2/G3ファクス

■ HLC を設定する ■

HLCを設定します。データポートの場合は、コードを設定できます。

アナログポートの場合

アナログポートでは、HLCを設定して通知するだけか、着信のHLCを照合するかどうかを選択できます。

1. HLCを設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(1.1.1 / 1.2.1 / 1.3.1)

[アナログポート] ボタン [Aポート]/[Bポート]/[Cポート] タブ [高度な設定] ボタン

「HLCを設定し、着信判定する」または「HLCを設定するが着信判定しない」を選択します。

(初期値)

データポートの場合

1. HLCを設定する

『らくらくユーティリティ画面兼設定記入シート』(2.1 / 2.2 / 2.3)

[データポート] ボタン [データポート]/[USB(B)ポート]/[USB(F)ポート] タブ [電話番号] 選択

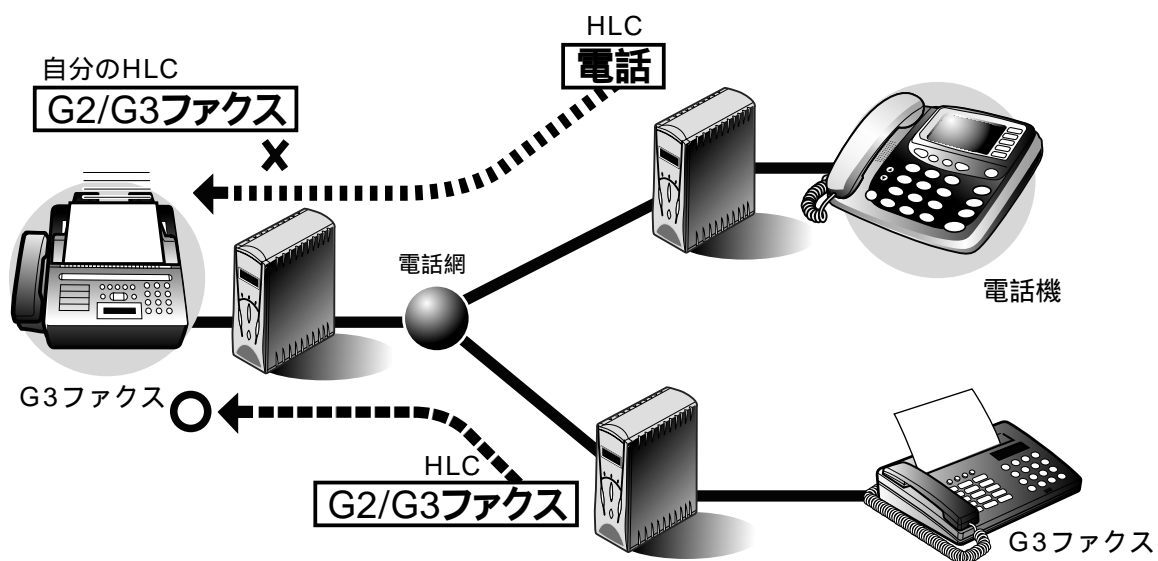
- 1) 「HLCを設定する」をチェックする
- 2) コードを入力する

(初期値 チェックなし)

●ご参考・・・・・・・・

- ・ ファクス電話のように、相手が電話でもファクスでも着信を受け付けたいときは「HLCを設定しない」に設定します。HLCを設定するとISDN用電話機からの着信を受け付けません。
- ・ HLCは、電話機から設定することもできます。
「8.電話機からの設定操作」(☞ 8-3ページ)

■ HLC 照合のしくみ ■



発信時は、Atermが自分の機器を表すHLCを付けて発信します。
着信時は、発信側からのHLCと自分のHLCを照合し、一致する場合にのみ通信を行います。ただし、HLCが通知されない相手からの着信は受け付けます。